

海津市総合開発計画づくりのためのアンケート調査

調査結果

平成 18 年 3 月

海 津 市

目 次

調査の概要

1	調査の概要	1
1 - 1	調査の目的	1
1 - 2	調査の設計	1
1 - 3	回収の結果	1
1 - 4	報告書の見方	1

調査結果

1	回答者の属性	2
1 - 1	性別	2
1 - 2	年齢	2
1 - 3	居住地域	2
1 - 4	職業	3
1 - 5	就業地・通学地	3
1 - 6	居住年数	4
1 - 7	家族形態	4
1 - 8	住居形態	4
2	海津市について	5
2 - 1	現在の海津市のイメージ	5
2 - 2	海津市の住みやすさ	7
2 - 3	居住意向	8
2 - 4	市政の満足度・重要度	10
2 - 5	市政への関心度	20
2 - 6	市政情報の入手手段	21
2 - 7	海津市の施設の利用状況	22
3	将来のまちづくりについて	24
3 - 1	交通に関する施策の力点	24
3 - 2	消防・救急体制、防災等に関する施策の力点	26
3 - 3	保健・医療に関する施策の力点	28
3 - 4	高齢者や障害者に関する施策の力点	30

3 - 5	子育てに関する施策の力点	32
3 - 6	産業振興に関する施策の力点	34
3 - 7	学校教育に関する施策の力点	42
3 - 8	生涯学習・文化・スポーツに関する施策の力点	44
3 - 9	国際化の推進に関する施策の力点	46
3 - 10	環境問題に関する施策の力点	48
3 - 11	住民が主体となったまちづくりについての考え方	50
3 - 12	市民活動への参加意向	51
3 - 13	効率的な行政運営を行うために重点的に取り組むべきこと	53

調査の概要

1 調査の概要

1 - 1 調査の目的

この調査は、合併後初となる「海津市総合開発計画」の策定にあたり、市民の意見や要望等を踏まえて進めていくための基礎資料を得ることを目的として実施した。

1 - 2 調査の設計

- (1) 調査地域 海津市内全域
- (2) 調査対象 満16歳以上の男女個人
- (3) サンプル数 5,000人
- (4) 抽出方法 無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期 平成17年11月

1 - 3 回収の結果

配布数	回収数	有効	無効	未回収
5,000	2,487	2,486	1	2,513
100.0%	49.7%	49.7%	0.0%	50.3%

白紙票は無効とした。

1 - 4 報告書の見方

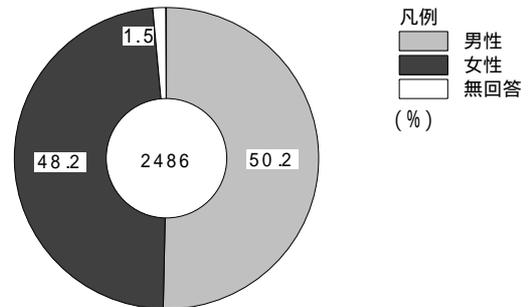
- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が100にならないこともある。
- (2) 基数となるべき実数は、件数として掲載した。したがって比率は、件数を100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をする。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ等の見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

調査結果

1 回答者の属性

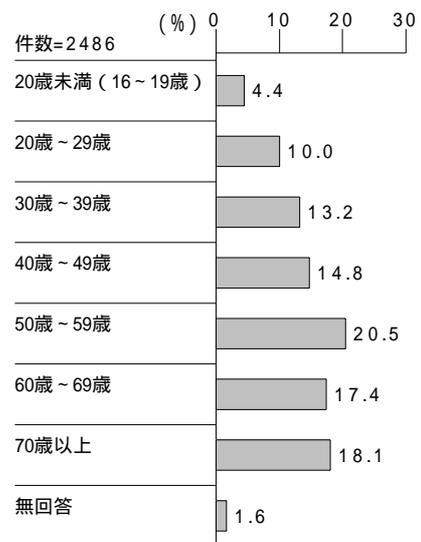
1 - 1 性別

調査回答者の性別は、男性が50.2%、女性が48.2%となっており、ほぼ同じ割合となっている。



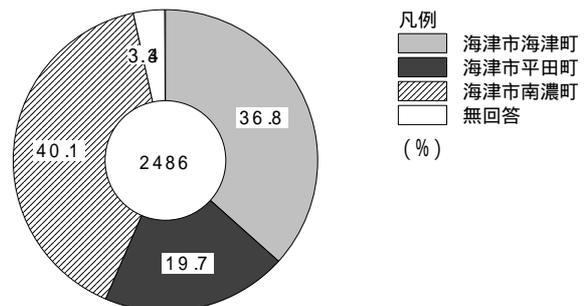
1 - 2 年齢

調査回答者の年齢は、「50歳代」が20.5%で最も多く、次いで「70歳以上」が18.1%、「60歳代」が17.4%などと続き、「20歳未満」が4.4%で最も少なくなっている。



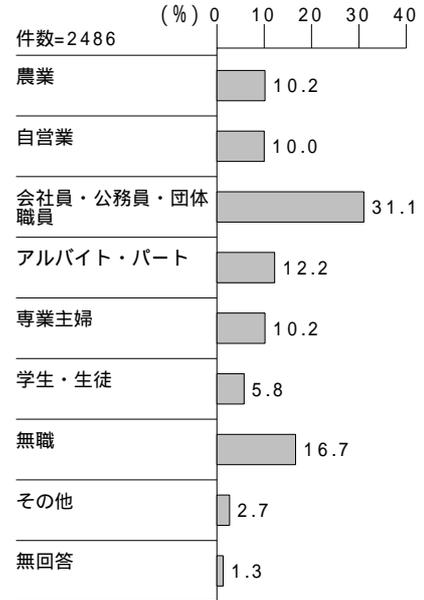
1 - 3 居住地

居住地は、「南濃町」が40.1%、「海津町」が36.8%、「平田町」が19.7%となっている。



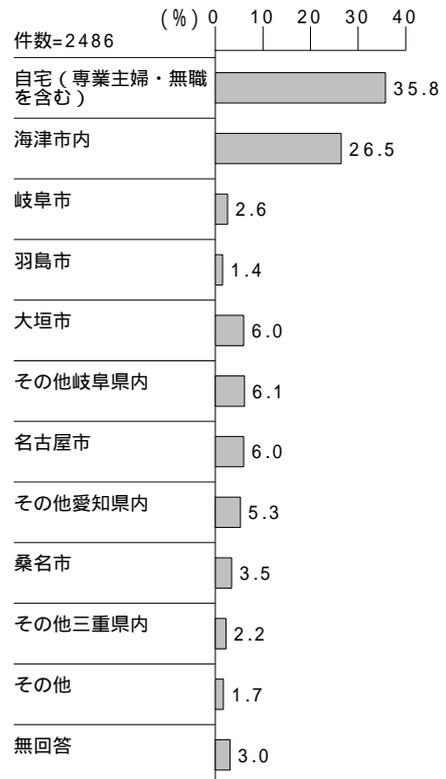
1 - 4 職業

職業は、「会社員、公務員、団体職員」が31.1%で最も多く、次いで「無職」が16.7%で続いている。また、有職者は、あわせて66.2%となっている。



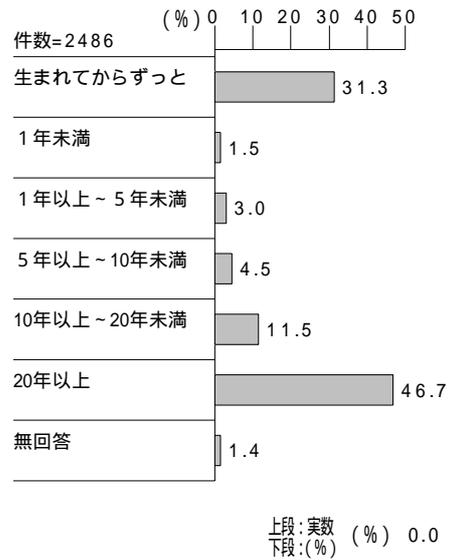
1 - 5 就業地・通学地

就業地・通学地は、「自宅（専業主婦・無職を含む）」が35.8%で最も多く、次いで「海津市内」が26.5%で続いている。このほか、「その他岐阜県内」(6.1%)、「大垣市内」(6.0%)、「名古屋市」(6.0%)が多くなっている。



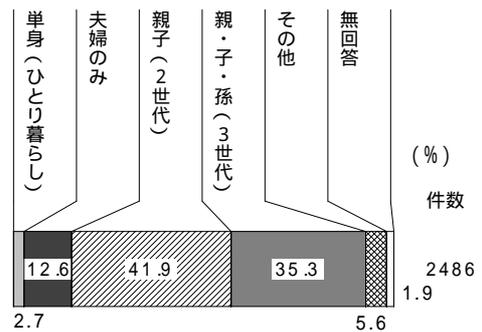
1 - 6 居住年数

居住年数は、「20年以上」が46.7%で最も多く、次いで「生まれてからずっと」が31.3%で続いており、長年暮らしている方が多くなっている。



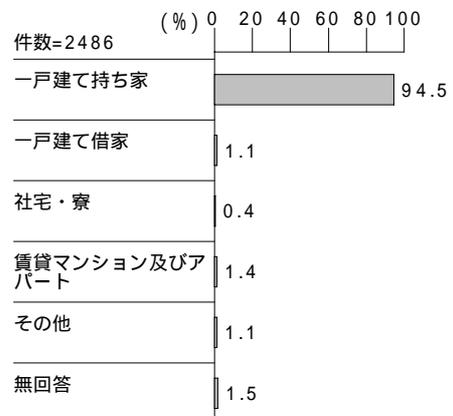
1 - 7 家族形態

家族形態は、「親子(2世代)」世帯が41.9%で最も多く、次いで「親・子・孫(3世代)」世帯が35.3%、「夫婦のみ」世帯が12.6%と続き、「单身(ひとり暮らし)」世帯は2.7%となっている。



1 - 8 住居形態

住居形態は、「一戸建て持ち家」が94.5%を占めている。



2 海津市について

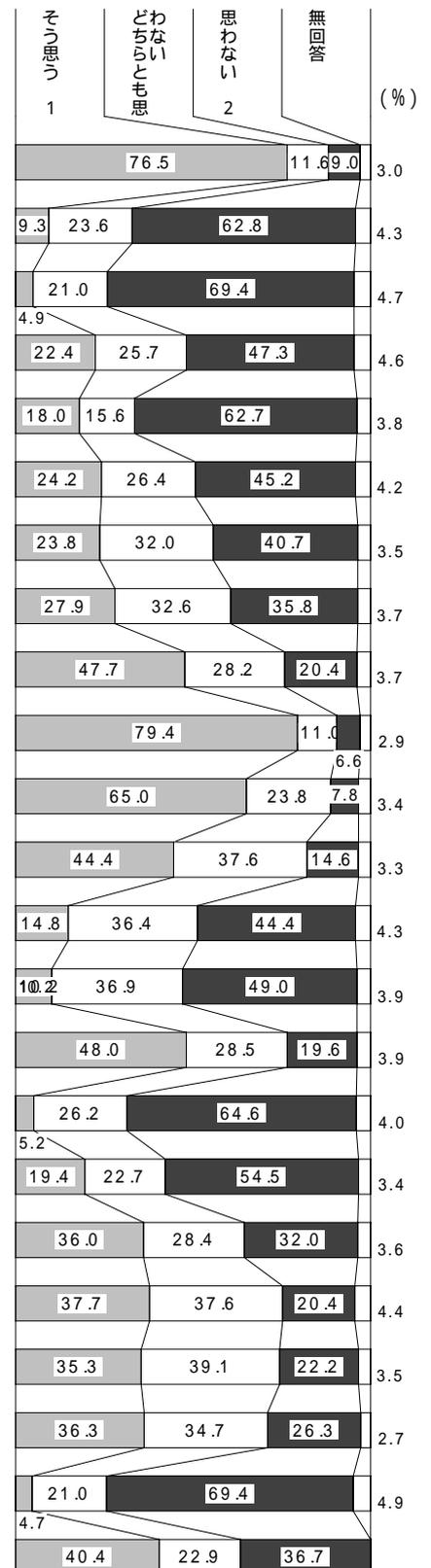
2 - 1 現在の海津市のイメージ

問2 あなたは現在の海津市について、どのようなまちであると思われますか。（各1つずつ）

現在の海津市のイメージについてたずねたところ、『そう思う』と答えた人が多かったイメージは、「10山・川など自然が残るまち」が79.4%で最も多く、次いで「1 農業の盛んなまち」が76.5%、「11 治山・治水が整備されたまち」が65.0%、「15 歴史・伝統のあるまち」が48.0%、「9 公害・廃棄物が少なくきれいなまち」が47.7%と続き、これらが上位5項目となっている。一方、「思わない」との回答が多かったイメージは、「3 工業の盛んなまち」「22 若者にとって魅力のあるまち」がともに69.4%で最も多くなっている。

件数=2486
23その他は、件数=109

- 1 農業の盛んなまち
- 商業の盛んなまち
- 3 工業の盛んなまち
- 4 観光・レクリエーションの盛んなまち
- 5 交通の便がよいまち
- 6 公園・スポーツ・レジャー施設が整備されたまち
- 7 保健・医療施設が整備されたまち
- 8 福祉施設がよく整備されたまち
- 9 公害・廃棄物が少なくきれいなまち
- 10 山・川など自然が残るまち
- 11 治山・治水が整備されたまち
- 12 消防・救急・防災体制が充実したまち
- 13 地域の情報基盤（光ファイバー等）が整備されたまち
- 14 生活文化・芸術文化の高いまち
- 15 歴史・伝統のあるまち
- 16 働きがいのある職場の多いまち
- 17 買物に便利なまち
- 18 上下水道が整備されたまち
- 19 子どもを育てやすいまち
- 20 人情が厚くふれあいや連帯感のあるまち
- 21 老人にとって住みやすいまち
- 22 若者にとって魅力のあるまち
- 23 その他



1 「そう思う」「ややそう思う」の計
2 「あまり思わない」「思わない」の計

	件数	その他 しつじ	やさ しつじ	たの しつじ	あまり 思わない	思わ ない	無回 答
	上段：実数 下段：(%)						
1 農業の盛んなまち	2486 100.0	1003 40.3	898 36.1	288 11.6	175 7.0	48 1.9	74 3.0
2 商業の盛んなまち	2486 100.0	32 1.3	200 8.0	586 23.6	1003 40.3	558 22.4	107 4.3
3 工業の盛んなまち	2486 100.0	22 0.9	101 4.1	522 21.0	913 36.7	812 32.7	116 4.7
4 観光・レクリエーションの盛んなまち	2486 100.0	70 2.8	486 19.5	640 25.7	719 28.9	456 18.3	115 4.6
5 交通の便がよいまち	2486 100.0	138 5.6	309 12.4	387 15.6	595 23.9	963 38.7	94 3.8
6 公園・スポーツ・レジャー施設が整備されたまち	2486 100.0	120 4.8	481 19.3	657 26.4	698 28.1	426 17.1	104 4.2
7 保健・医療施設が整備されたまち	2486 100.0	118 4.7	473 19.0	796 32.0	668 26.9	344 13.8	87 3.5
8 福祉施設がよく整備されたまち	2486 100.0	132 5.3	562 22.6	810 32.6	588 23.7	303 12.2	91 3.7
9 公害・廃棄物が少なくきれいなまち	2486 100.0	302 12.1	883 35.5	701 28.2	354 14.2	153 6.2	93 3.7
10 山・川など自然が残るまち	2486 100.0	993 39.9	982 39.5	274 11.0	117 4.7	47 1.9	73 2.9
11 治山・治水が整備されたまち	2486 100.0	605 24.3	1011 40.7	592 23.8	149 6.0	45 1.8	84 3.4
12 消防・救急・防災体制が充実したまち	2486 100.0	305 12.3	799 32.1	935 37.6	274 11.0	90 3.6	83 3.3
13 地域の情報基盤（光ファイバー等）が整備されたまち	2486 100.0	68 2.7	300 12.1	906 36.4	676 27.2	429 17.3	107 4.3
14 生活文化・芸術文化の高いまち	2486 100.0	42 1.7	212 8.5	917 36.9	794 31.9	425 17.1	96 3.9
15 歴史・伝統のあるまち	2486 100.0	311 12.5	882 35.5	709 28.5	363 14.6	125 5.0	96 3.9
16 働きがいのある職場の多いまち	2486 100.0	21 0.8	108 4.3	651 26.2	874 35.2	732 29.4	100 4.0
17 買物に便利なまち	2486 100.0	127 5.1	355 14.3	565 22.7	676 27.2	679 27.3	84 3.4
18 上下水道が整備されたまち	2486 100.0	246 9.9	648 26.1	707 28.4	466 18.7	329 13.2	90 3.6
19 子どもを育てやすいまち	2486 100.0	223 9.0	713 28.7	934 37.6	338 13.6	168 6.8	110 4.4
20 人情が厚くふれあいや連帯感のあるまち	2486 100.0	185 7.4	692 27.8	971 39.1	365 14.7	187 7.5	86 3.5
21 老人にとって住みやすいまち	2486 100.0	242 9.7	660 26.5	863 34.7	434 17.5	220 8.8	67 2.7
22 若者にとって魅力のあるまち	2486 100.0	33 1.3	83 3.3	522 21.0	858 34.5	868 34.9	122 4.9
23 その他	109 100.0	39 35.8	5 4.6	25 22.9	7 6.4	33 30.3	-

2 - 2 海津市の住みやすさ

問3 あなたは現在の海津市について、住みやすいまちだと思いますか。(1つだけ)

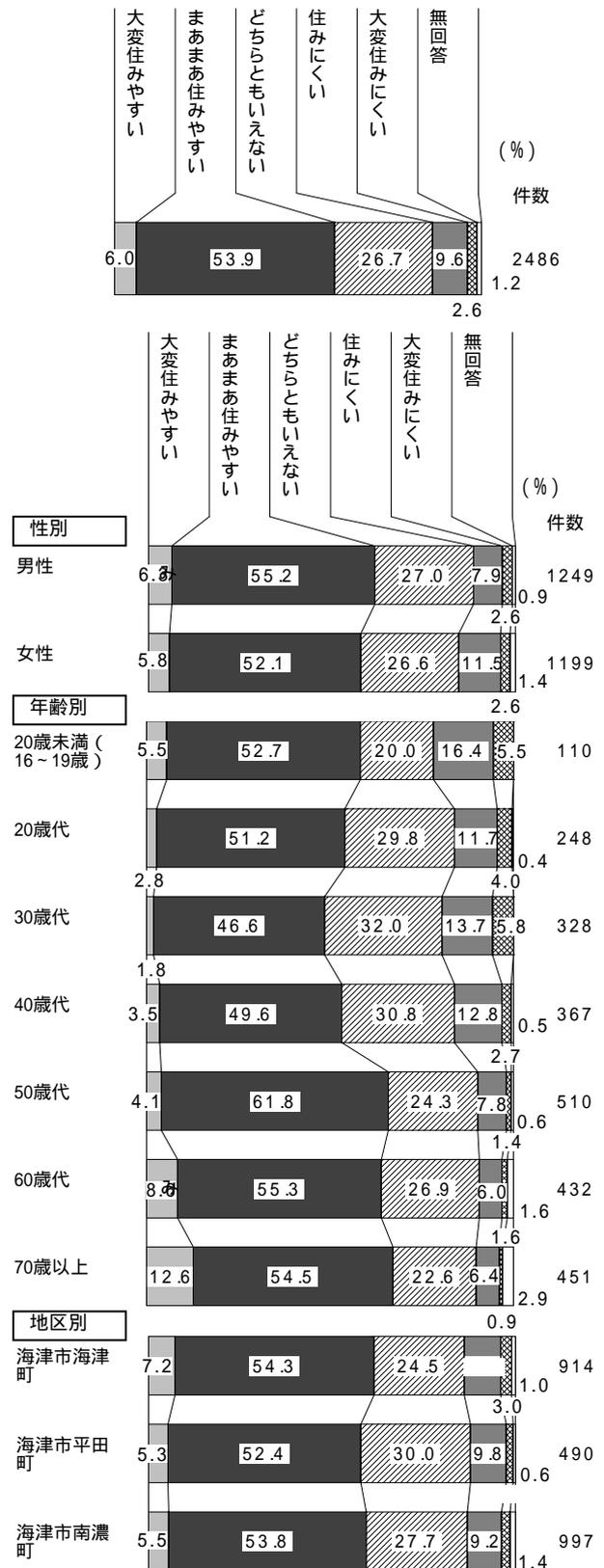
海津市の住みやすさは、「まあ住みやすい」と答えた人が53.9%で最も多くなっている。これに「大変住みやすい」と答えた人をあわせると、『住みやすい』¹と評価する人は、およそ6割を占める。一方、『住みにくい』²と評価する人は、12.2%となっている。

性別で見ると、『住みやすい』¹と答えた人は、男性が61.5%、女性が57.9%で、大きな差はみられない。

年齢別で見ると、『住みやすい』¹と答えた人は50歳以上の年齢層では6割以上を占めているが、40歳代以下の年齢層では6割以下となっている。一方、『住みにくい』²と答えた人は、40歳代以下の年齢層では1割以上を占めている。

地区別で見ると、顕著な差はみられず、『住みやすい』¹と答えた人が6割前後の割合を占めている。

1 「大変住みやすい」「まあまあ住みやすい」の計
2 「住みにくい」「大変住みにくい」の計



2 - 3 居留意向

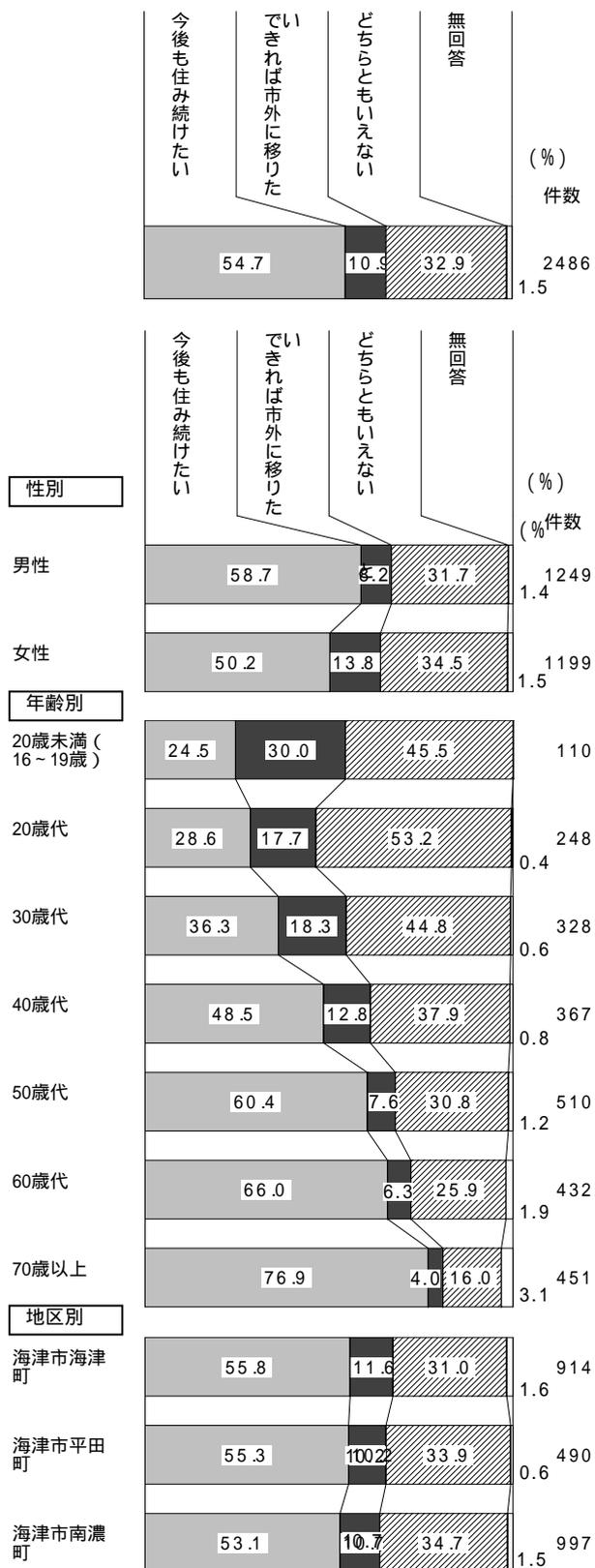
問4 あなたは今後も海津市に住みたいと思いますか。(1つだけ)

今後の居留意向は、「今後も住みたい」と答えた人が54.7%と半数以上を占めている。一方、「できれば市外に移りたい」と答えた人は10.9%で約1割を占めている。

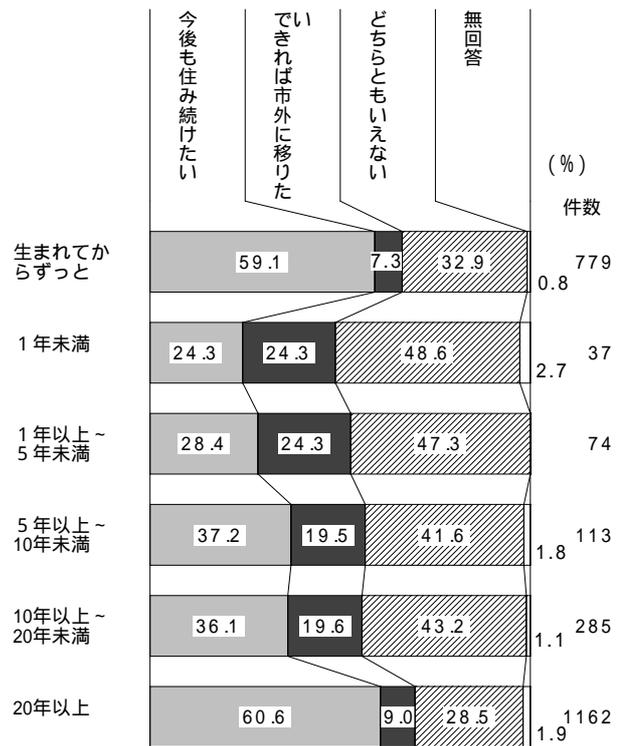
性別でみると、「今後も住みたい」と答えた人は、男性が58.7%、女性が50.2%であり、男性に多くなっている。

年齢別でみると、高年齢になるにしたがって「今後も住みたい」との回答が多くなっており、20歳未満が24.5%で最も少なく、70歳以上が76.9%で最も多くなっている。

地区別でみても顕著な差はみられない。



居住年数別でみると、「今後も住み続けたい」は、生まれてからずっと、20年以上といった長年住んでいる人に多く、「どちらともいえない」は、20年未満の各層で4割以上を占めている。



2 - 4 市政の満足度・重要度

問5 海津市の現状について、現時点でどの程度満足していますか。また、行政が取り組む必要性についてどの程度重要だと思いますか。（各1つずつ）

市政の満足度についてみると、『満足』¹との回答が多かった施策は、「1 自然環境の豊かさ」54.3%で最も多く、次いで、「8 上水道の給水状況」が45.1%と続き、「6 ごみの収集・処理の状況」が39.6%、「3 道路・水路の整備の状況」が36.4%、「5 騒音・振動・悪臭等の環境」が34.9%で3割以上となっている。一方、『不満』²との回答が多かった施策は、「4 交通の便利さ」が58.7%で最も多く、「24 通勤・通学の便利さ」(46.3%)、「18 働きがいのある職場」(42.7%)、「19 日常の買い物の便利さ」(42.7%)が4割以上で続いている。

市政の重要度についてみると、『重要』³との回答が多かった施策は、「2 火災や災害（地震・台風など）からの安全性」が79.6%で最も多く、次いで「25 救急医療体制の状況（夜間・事故など）」(68.6%)、「16 医療サービスや施設整備の状況」(68.4%)、「4 交通機関の便利さ」(67.1%)、「22 犯罪・風紀などの防犯対策」(66.4%)、「12 子どもの教育環境」(65.9%)と続いている。

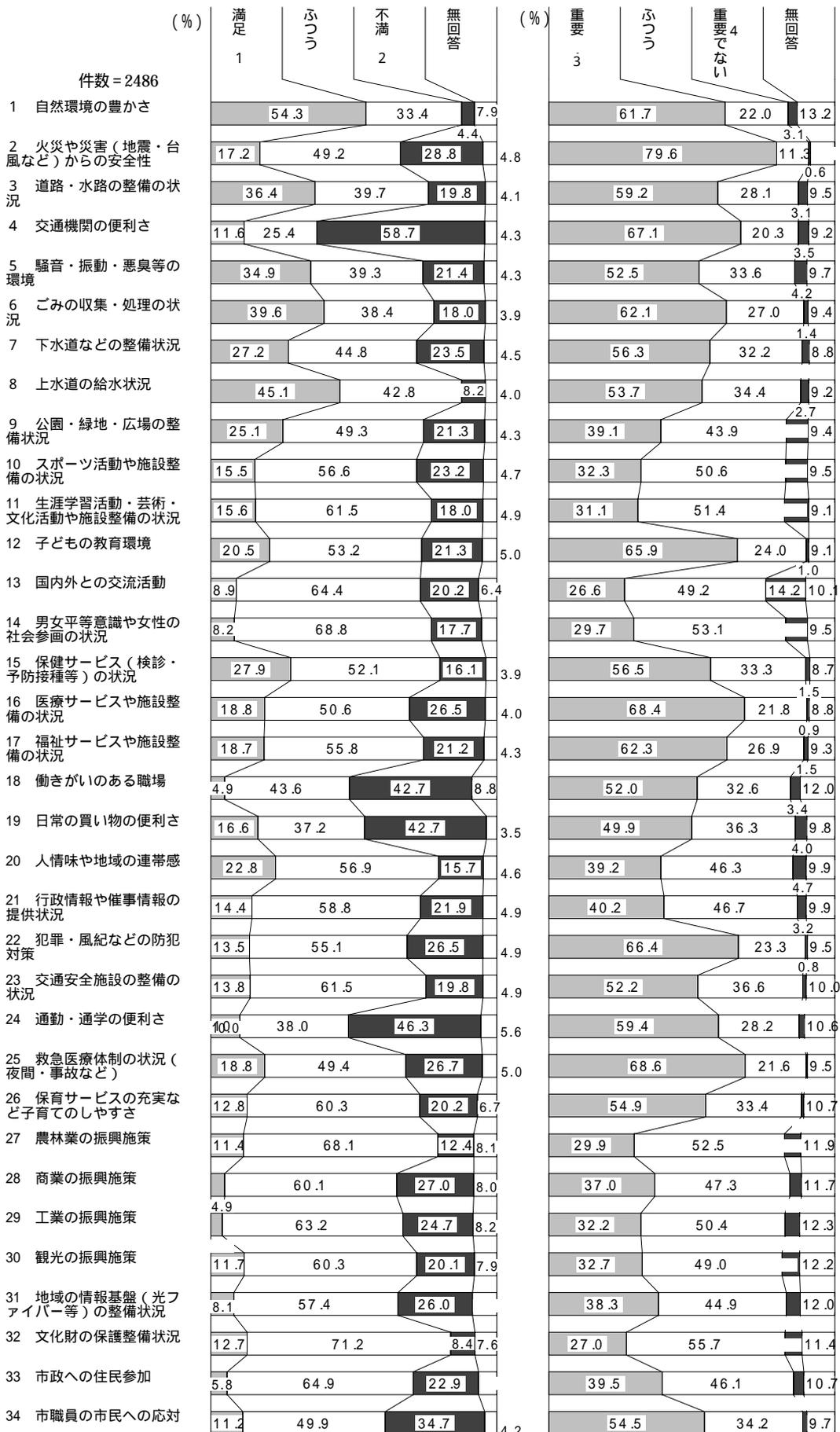
1 「満足」「まあ満足」の計

2 「やや不満」「不満」の計

3 「非常に重要」「やや重要」の計

問5 施策の満足

問5 施策の重要度



1 「満足」「まあ満足」の計 2 「やや不満」「不満」の計 3 「非常に重要」「やや重要」の計 4 「さほど重要でない」「重要でない」の計

問5 施策の満足

問5 施策の重要度

	問5 施策の満足							問5 施策の重要度						
	件数	満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	件数	非常に重要	やや重要	ふつう	それほど重要でない	重要でない	無回答
上段:実数 下段:(%)														
1 自然環境の豊かさ	2486 100.0	351 14.1	999 40.2	831 33.4	78 3.1	31 1.2	196 7.9	2486 100.0	828 33.3	705 28.4	548 22.0	61 2.5	15 0.6	329 13.2
2 火災や災害(地震・台風など)からの安全性	2486 100.0	51 2.1	376 15.1	1223 49.2	490 19.7	226 9.1	120 4.8	2486 100.0	1601 64.4	377 15.2	281 11.3	10 0.4	4 0.2	213 8.6
3 道路・水路の整備の状況	2486 100.0	193 7.8	711 28.6	988 39.7	340 13.7	152 6.1	102 4.1	2486 100.0	687 27.6	785 31.6	699 28.1	65 2.6	13 0.5	237 9.5
4 交通機関の便利さ	2486 100.0	67 2.7	221 8.9	632 25.4	734 29.5	726 29.2	106 4.3	2486 100.0	900 36.2	767 30.9	504 20.3	71 2.9	15 0.6	229 9.2
5 騒音・振動・悪臭等の環境	2486 100.0	241 9.7	627 25.2	978 39.3	343 13.8	189 7.6	108 4.3	2486 100.0	614 24.7	691 27.8	835 33.6	84 3.4	20 0.8	242 9.7
6 ごみの収集・処理の状況	2486 100.0	229 9.2	756 30.4	955 38.4	304 12.2	144 5.8	98 3.9	2486 100.0	847 34.1	698 28.1	671 27.0	27 1.1	9 0.4	234 9.4
7 下水道などの整備状況	2486 100.0	209 8.4	466 18.7	1114 44.8	344 13.8	240 9.7	113 4.5	2486 100.0	728 29.3	672 27.0	800 32.2	47 1.9	19 0.8	220 8.8
8 上水道の給水状況	2486 100.0	419 16.9	701 28.2	1063 42.8	133 5.3	71 2.9	99 4.0	2486 100.0	753 30.3	582 23.4	855 34.4	52 2.1	15 0.6	229 9.2
9 公園・緑地・広場の整備状況	2486 100.0	111 4.5	514 20.7	1225 49.3	359 14.4	171 6.9	106 4.3	2486 100.0	331 13.3	642 25.8	1091 43.9	146 5.9	42 1.7	234 9.4
10 スポーツ活動や施設整備の状況	2486 100.0	61 2.5	324 13.0	1407 56.6	390 15.7	187 7.5	117 4.7	2486 100.0	261 10.5	541 21.8	1257 50.6	150 6.0	41 1.6	236 9.5
11 生涯学習活動・芸術・文化活動や施設整備の状況	2486 100.0	62 2.5	327 13.2	1528 61.5	333 13.4	114 4.6	122 4.9	2486 100.0	249 10.0	523 21.0	1278 51.4	167 6.7	43 1.7	226 9.1
12 子どもの教育環境	2486 100.0	72 2.9	438 17.6	1322 53.2	376 15.1	153 6.2	125 5.0	2486 100.0	1025 41.2	614 24.7	597 24.0	20 0.8	2 0.2	226 9.1
13 国内外との交流活動	2486 100.0	34 1.4	188 7.6	1602 64.4	349 14.0	153 6.2	160 6.4	2486 100.0	210 8.4	451 18.1	1222 49.2	260 10.5	92 3.7	251 10.1
14 男女平等意識や女性の社会参画の状況	2486 100.0	29 1.2	176 7.1	1710 68.8	324 13.0	115 4.6	132 5.3	2486 100.0	260 10.5	478 19.2	1320 53.1	154 6.2	37 1.5	237 9.5
15 保健サービス(検診・予防接種等)の状況	2486 100.0	141 5.7	553 22.2	1295 52.1	261 10.5	140 5.6	96 3.9	2486 100.0	697 28.0	707 28.4	828 33.3	27 1.1	10 0.4	217 8.7
16 医療サービスや施設整備の状況	2486 100.0	62 2.5	406 16.3	1258 50.6	476 19.1	184 7.4	100 4.0	2486 100.0	980 39.4	720 29.0	543 21.8	17 0.7	6 0.2	220 8.8
17 福祉サービスや施設整備の状況	2486 100.0	64 2.6	400 16.1	1386 55.8	382 15.4	146 5.9	108 4.3	2486 100.0	811 32.6	738 29.7	669 26.9	27 1.1	10 0.4	231 9.3
18 働きがいのある職場	2486 100.0	21 0.8	101 4.1	1084 43.6	645 25.9	417 16.8	218 8.8	2486 100.0	644 25.9	648 26.1	810 32.6	63 2.5	22 0.9	299 12.0
19 日常の買い物の便利さ	2486 100.0	64 2.6	348 14.0	925 37.2	626 25.2	436 17.5	87 3.5	2486 100.0	527 21.2	714 28.7	902 36.3	80 3.2	19 0.8	244 9.8
20 人情味や地域の連帯感	2486 100.0	89 3.6	477 19.2	1415 56.9	274 11.0	116 4.7	115 4.6	2486 100.0	378 15.2	596 24.0	1151 46.3	84 3.4	32 1.3	245 9.9
21 行政情報や僱事情報の提供状況	2486 100.0	44 1.8	314 12.6	1462 58.8	383 15.4	162 6.5	121 4.9	2486 100.0	369 14.8	630 25.3	1161 46.7	66 2.7	14 0.6	246 9.9
22 犯罪・風紀などの防犯対策	2486 100.0	36 1.4	299 12.0	1370 55.1	506 20.4	153 6.2	122 4.9	2486 100.0	958 38.5	693 27.9	579 23.3	14 0.6	5 0.2	237 9.5
23 交通安全施設の整備の状況	2486 100.0	38 1.5	306 12.3	1528 61.5	358 14.4	134 5.4	122 4.9	2486 100.0	628 25.3	669 26.9	910 36.6	26 1.0	4 0.2	249 10.0
24 通勤・通学の便利さ	2486 100.0	45 1.8	207 8.3	945 38.0	633 25.5	518 20.8	138 5.6	2486 100.0	721 29.0	756 30.4	700 28.2	34 1.4	11 0.4	264 10.6
25 救急医療体制の状況(夜間・事故など)	2486 100.0	82 3.3	385 15.5	1229 49.4	438 17.6	227 9.1	125 5.0	2486 100.0	1062 42.7	643 25.9	536 21.6	6 0.2	2 0.1	237 9.5
26 保育サービスの充実など子育てのしやすさ	2486 100.0	38 1.5	280 11.3	1499 60.3	337 13.6	165 6.6	167 6.7	2486 100.0	671 27.0	693 27.9	831 33.4	20 0.8	4 0.2	267 10.7
27 農林業の振興施策	2486 100.0	49 2.0	235 9.5	1693 68.1	216 8.7	92 3.7	201 8.1	2486 100.0	297 11.9	447 18.0	1305 52.5	102 4.1	40 1.6	295 11.9
28 商業の振興施策	2486 100.0	11 0.4	112 4.5	1495 60.1	493 19.8	177 7.1	198 8.0	2486 100.0	332 13.4	589 23.7	1176 47.3	75 3.0	24 1.0	290 11.7
29 工業の振興施策	2486 100.0	8 0.3	90 3.6	1571 63.2	430 17.3	183 7.4	204 8.2	2486 100.0	304 12.2	497 20.0	1252 50.4	97 3.9	29 1.2	307 12.3
30 観光の振興施策	2486 100.0	34 1.4	258 10.4	1499 60.3	350 14.1	149 6.0	196 7.9	2486 100.0	270 10.9	542 21.8	1218 49.0	124 5.0	28 1.1	304 12.2
31 地域の情報基盤(光ファイバ一等)の整備状況	2486 100.0	29 1.2	172 6.9	1428 57.4	421 16.9	225 9.1	211 8.5	2486 100.0	349 14.0	603 24.3	1115 44.9	98 3.9	23 0.9	298 12.0
32 文化財の保護整備状況	2486 100.0	40 1.6	276 11.1	1771 71.2	149 6.0	60 2.4	190 7.6	2486 100.0	219 8.8	453 18.2	1384 55.7	108 4.3	38 1.5	284 11.4
33 市政への住民参加	2486 100.0	15 0.6	129 5.2	1613 64.9	400 16.1	169 6.8	160 6.4	2486 100.0	416 16.7	567 22.8	1146 46.1	66 2.7	25 1.0	266 10.7
34 市職員の市民への対応	2486 100.0	43 1.7	236 9.5	1240 49.9	512 20.6	350 14.1	105 4.2	2486 100.0	764 30.7	592 23.8	849 34.2	23 0.9	16 0.6	242 9.7

【満足度・重要度評価】

海津市における市政の取り組みについて、34項目にわたり、重要度と満足度について5段階評価をしてもらった。この結果を3段階に集約して図化したものが11ページのグラフである。5段階と3段階評価の関連は下記のとおりである。

5段階評価		3段階評価
1 満足 / 非常に重要		1 満足 / 重要
2 まあ満足 / やや重要		
3 ふつう		2 ふつう
4 やや不満 / さほど重要でない		3 不満 / 重要でない
5 不満 / 重要でない		

満足度（「満足」と「まあ満足」の計）が高いのは、下記の項目である。

- ・自然の豊かさ (54.3%)
- ・上水道の給水状況 (45.1%)
- ・ごみの収集・処理の状況 (39.6%)
- ・道路・水路の整備の状況 (36.4%)
- ・騒音・振動・悪臭等の環境 (34.9%)

重要度（「非常に重要」と「やや重要」の計）が高いのは、下記の項目である。

- ・火災や災害（地震・台風など）からの安全性 (79.6%)
- ・救急医療体制の状況（夜間・事故など） (68.6%)
- ・医療サービスや施設整備の状況 (68.4%)
- ・交通機関の便利さ (67.1%)
- ・犯罪・風紀などの防犯対策 (66.4%)

【平均ポイントの算出】

次に、5段階評価に下記のようなポイントを付けて平均ポイントを算出し、分析を試みた。

満足度	重要度	ポイント
不満	重要でない	- 5点
やや不満	さほど重要でない	- 2点
ふつう	ふつう	± 0点
まあ満足	やや重要	+ 2点
満足	非常に重要	+ 5点

< 算出方法 >

$$\frac{\text{「満足/非常に重要」} \times (+5) + \text{「まあ満足/やや重要」} \times (+2) + \text{「やや不満/さほど重要でない」} \times (-2) + \text{「不満/重要でない」} \times (-5)}{\text{回答者数 (人)}} = \text{平均ポイント}$$

1人1項目あたりのポイント分析は、+5 ~ -5の範囲となる。このポイントの全体平均を算出し、満足度、重要度評価の指標とする。平均ポイントは、+5に近いほど満足（重要）であることを表し、-5に近いほど不満（重要でない）を表している。先述の満足度指標（「満足」と「まあ満足」の計）は、不満とする意見は全く考慮されない指標であったが、不満をマイナスポイントとして扱うこの指標では、不満とする回答の影響が含まれてくる点が異なる。

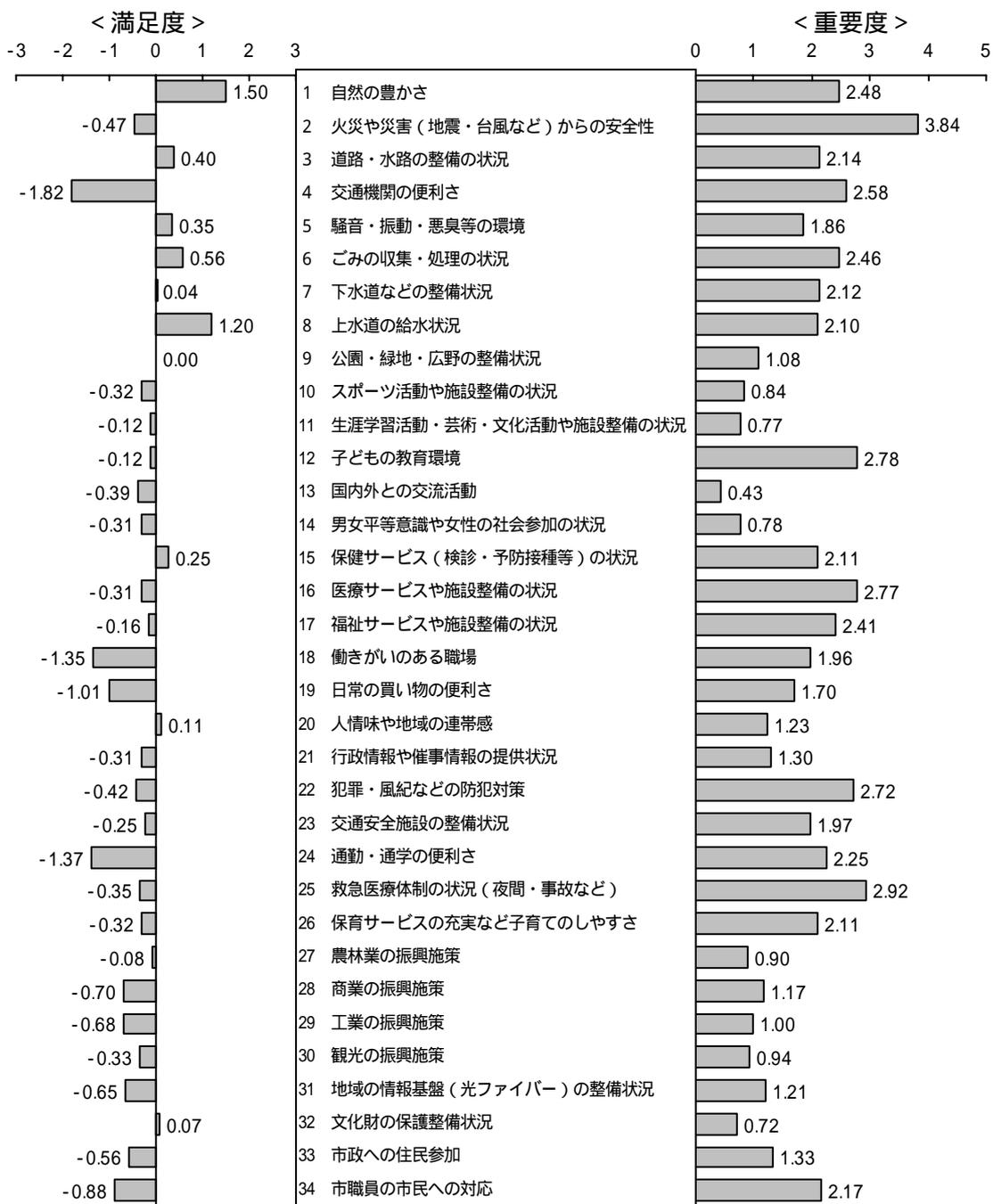
満足度の平均ポイントが高いのは、下記の項目である。

	平均ポイント	11ページの満足度指標の順位
・自然の豊かさ	(1.50)	(1位)
・上水道の給水状況	(1.20)	(2位)
・ごみの収集・処理の状況	(0.56)	(3位)
・道路・水路の整備の状況	(0.40)	(4位)
・騒音・振動・悪臭等の環境	(0.35)	(5位)

重要度の平均ポイントが高いのは、下記の項目である。

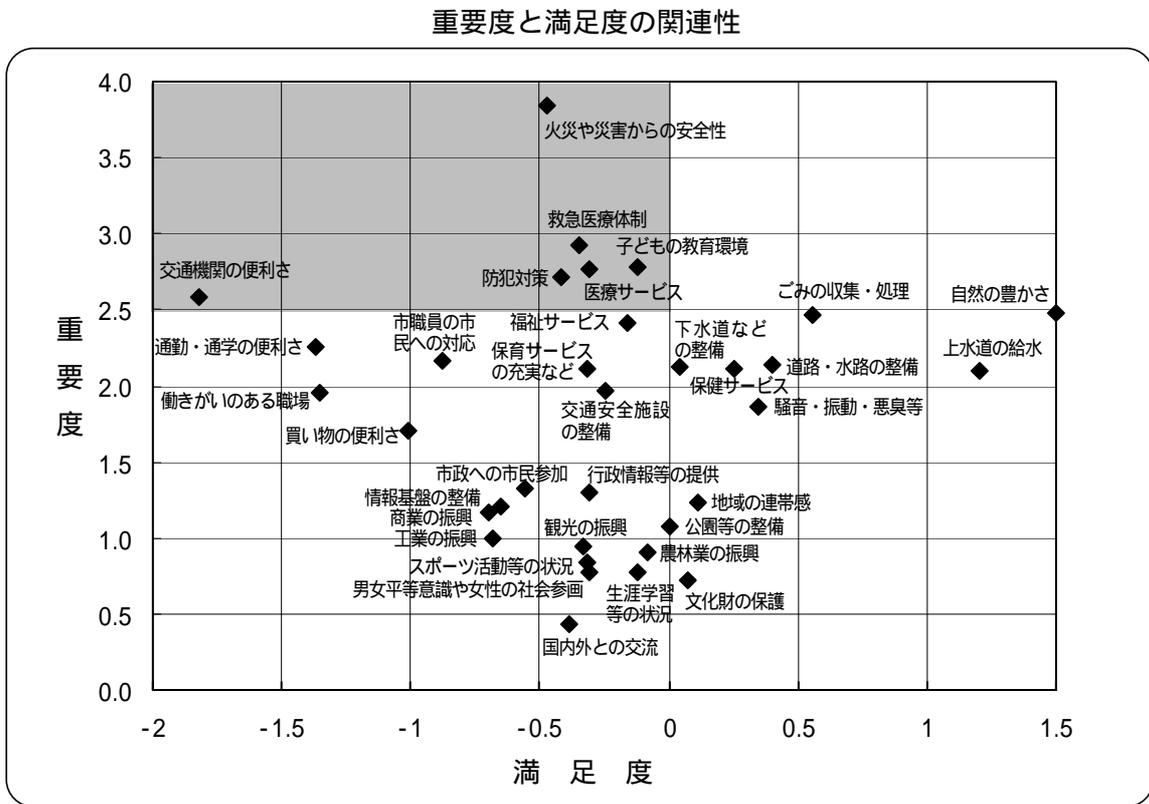
	平均ポイント	11ページの重要度指標の順位
・火災や災害（地震・台風など）からの安全性	(3.84)	(1位)
・救急医療体制の状況（夜間・事故など）	(2.92)	(2位)
・子どもの教育環境	(2.78)	(6位)
・医療サービスや施設整備の状況	(2.77)	(3位)
・犯罪・風紀などの防犯対策	(2.72)	(5位)

重要度・満足度の平均ポイント



【重要度と満足度の関連性】

満足度と重要度の関連性をみると、分析の視点は、市政評価の34項目のうち、どの項目が最優先課題なのかという点である。したがって、重視すべきは重要度と満足度がともに高い項目ではなく、重要度は高いが満足度は低い項目、つまり住民の多くがその項目について重要と考えているのに、現状に満足している人が多くない項目は何なのかという点である。満足度がマイナスで重要度が2.5以上を基準とした範囲に含まれる6項目（下図の■の部分）がそれにあたるのではないと思われる。



< 上図の分析から判断できる最優先課題 >

- ・火災や災害（地震・台風など）からの安全性
- ・救急医療体制の状況（夜間・事故など）
- ・子どもの教育環境
- ・医療サービスや施設整備の状況
- ・犯罪・風紀などの防犯対策
- ・交通機関の便利さ

【ニーズ得点と住みやすさとの相関】

問5の重要度と満足度から、下記の方法でニーズ得点というものを算出し、行政に対する住民のニーズについて分析を試みしてみる。

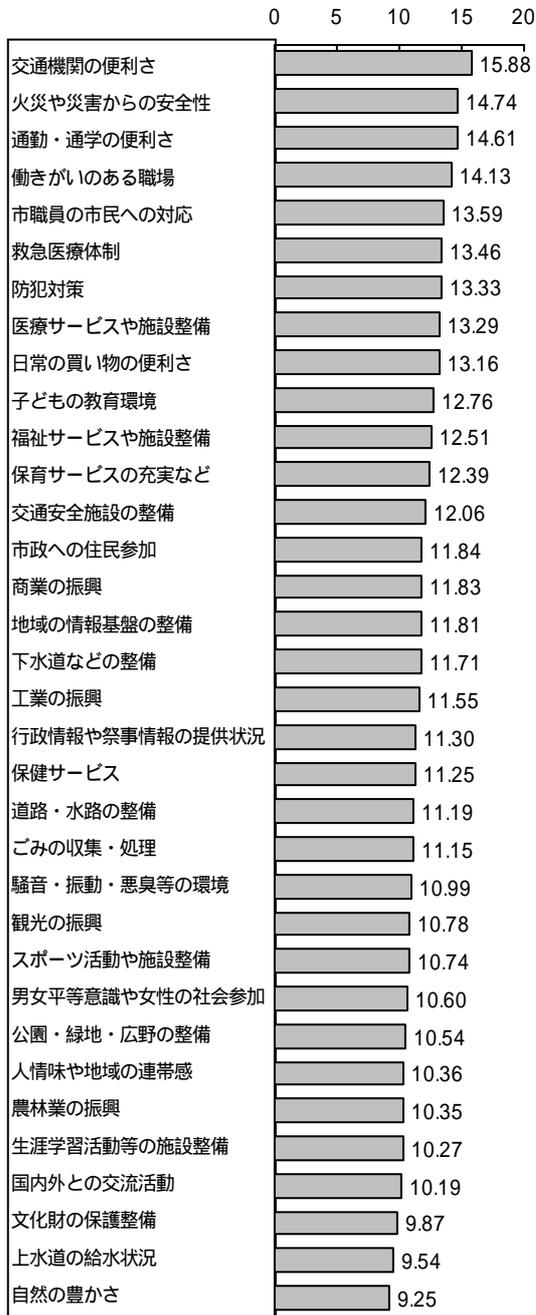
$$\boxed{\text{ニーズ得点}} = \boxed{\text{重要度得点}} \times (6 - \boxed{\text{満足度得点}})$$

注) 重要度と満足度の5段階評価に下表のような得点を設定する。

重要度得点		満足度得点	
非常に重要	(5点)	満足	(5点)
かなり重要	(4点)	まあ満足	(4点)
どちらともいえない	(3点)	どちらともいえない	(3点)
さほど重要ではない	(2点)	やや不満	(2点)
重要ではない	(1点)	不満	(1点)

次に、34項目にわたる施策の満足度、重要度からなるニーズ得点が、市民の総合的な住みやすさの評価にどのように影響するのかについて、両者の相関関係を求めることにより分析してみる。ニーズ得点と住みやすさの評価(問3)との相関関係は次のとおりである。

ニーズ得点



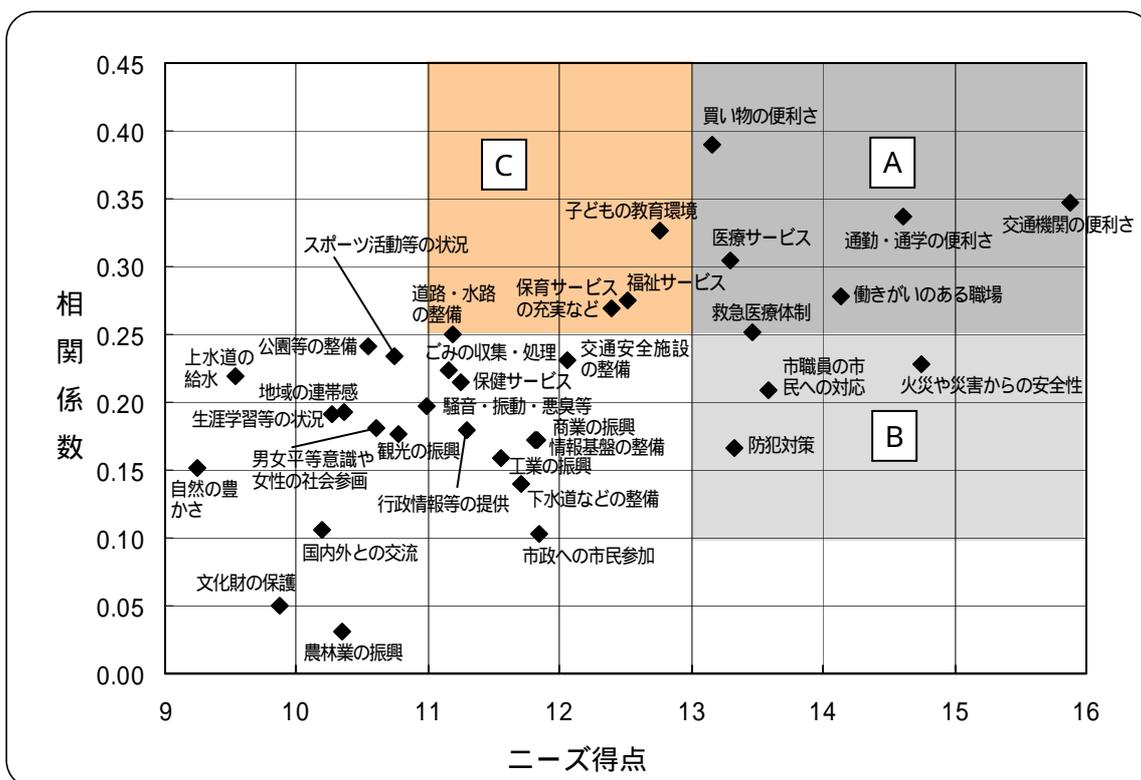
ニーズ得点と住みやすさの相関係数



ニーズ得点と住みやすさの評価との相関係数の大きさは、「ニーズが高く」且つ「住みやすさの評価に影響が強い」項目が、住民の住みやすさの評価を向上させる行政課題であると考えられる。

下図に示したとおり、優先課題は「交通機関の便利さ」「通勤・通学の便利さ」「買い物の便利さ」「医療サービス」「救急医療体制」などと考えられる。

ニーズ得点と相関係数との関連



- A : ニーズが高く、住みやすさの評価の向上に影響大
- B : ニーズが高く、住みやすさの評価の向上にやや影響
- C : ニーズがやや高く、住みやすさの評価の向上に影響大

2 - 5 市政への関心度

問6 あなたは海津市の行政にどの程度関心がありますか。(1つだけ)

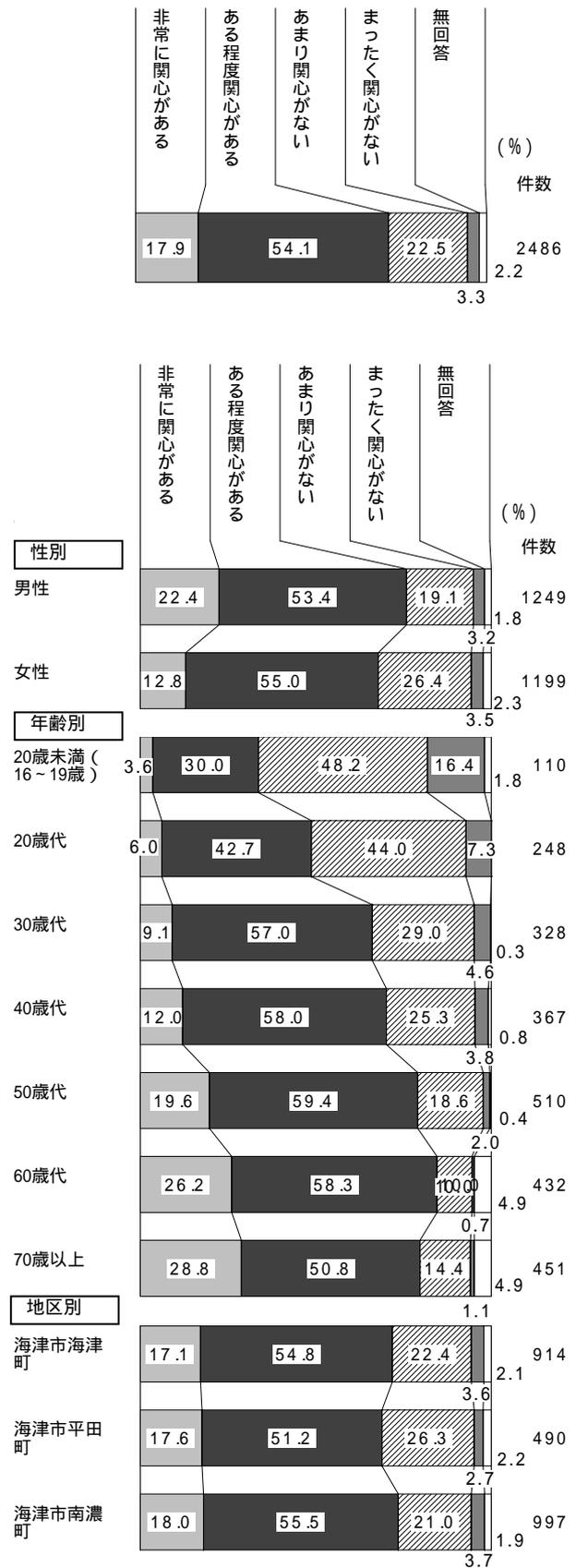
市政への関心度は、「ある程度関心がある」と答えた人が54.1%で最も多くなっている。これに「非常に関心がある」と答えた人をあわせると『関心がある』¹人は、7割以上を占めている。

性別でみると、『関心がある』¹人は、男性が75.8%、女性が67.8%で、男性に多くなっている。

年齢別でみると、『関心がある』¹人は、60歳代までは、年齢が高くなるにしたがって多くなっており、60歳代では84.5%を占めている。一方、『関心がない』²人は、20歳未満(64.6%)、20歳代(51.3%)で多くなっている。

地区別でみても顕著な差はみられない。

1 「非常に関心がある」「ある程度関心がある」の計
2 「あまり関心がない」「まったく関心がない」の計



2 - 6 市政情報の入手手段

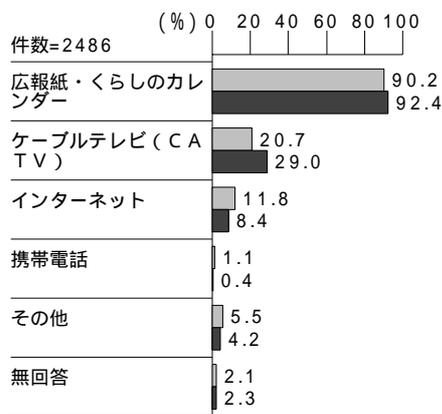
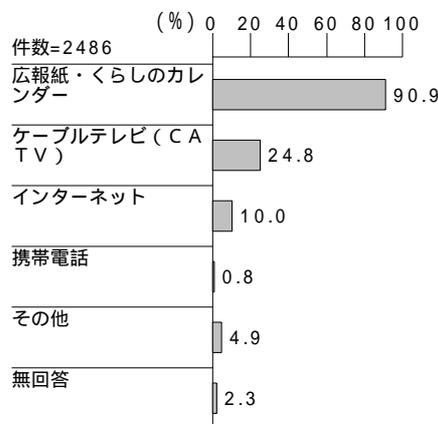
問7 あなたは海津市の情報をどのように得ていますか。(いくつでも)

市政情報の入手手段は、「広報紙、くらしのカレンダー」が90.9%と9割以上を占めている。これに次いで「ケーブルテレビ(CATV)」が24.8%、「インターネット」が10.0%となっている。

性別でみると、「ケーブルテレビ(CATV)」は、男性(20.7%)よりも、女性に(29.0%)に多くなっている。

年齢別でみると、「インターネット」は、50歳代までの各年齢層では1割以上となっている。

地区別でみると、「ケーブルテレビ(CATV)」は、海津町地区が30.5%で多くなっている。



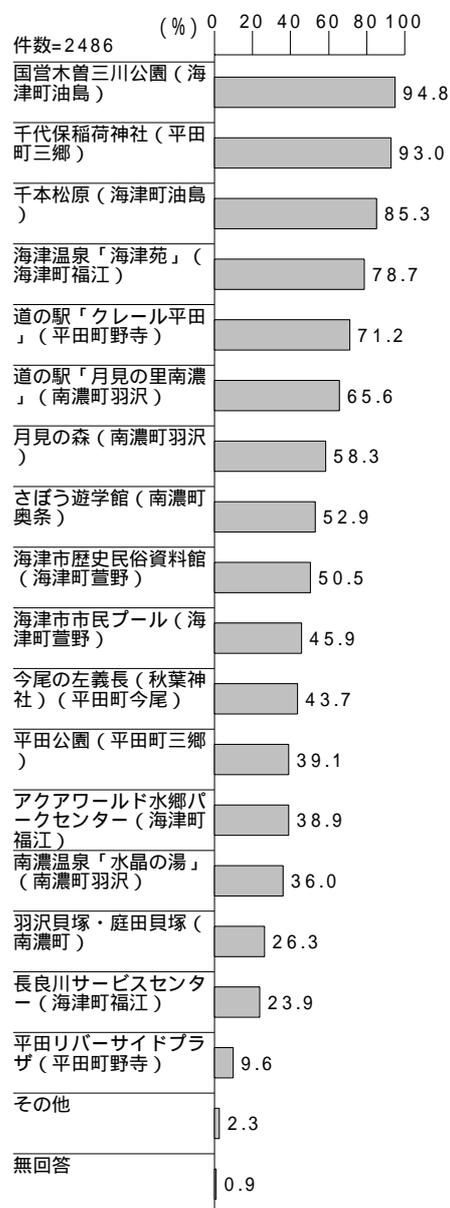
凡例 性
 男性
 女性

	件数	広報紙・くらしのカレンダー	ケーブルテレビ(CATV)	インターネット	携帯電話	その他	無回答	
								上段:実数 下段:(%)
全体	2486	2261	617	249	19	121	57	
	100.0	90.9	24.8	10.0	0.8	4.9	2.3	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110	89	29	9	1	4	2
		100.0	80.9	26.4	8.2	0.9	3.6	1.8
	20歳代	248	214	63	36	2	26	1
		100.0	86.3	25.4	14.5	0.8	10.5	0.4
	30歳代	328	304	91	53	1	18	2
		100.0	92.7	27.7	16.2	0.3	5.5	0.6
	40歳代	367	347	104	56	3	11	5
	100.0	94.6	28.3	15.3	0.8	3.0	1.4	
50歳代	510	489	135	53	3	23	4	
	100.0	95.9	26.5	10.4	0.6	4.5	0.8	
60歳代	432	384	100	27	2	26	17	
	100.0	88.9	23.1	6.3	0.5	6.0	3.9	
70歳以上	451	402	87	14	7	11	22	
	100.0	89.1	19.3	3.1	1.6	2.4	4.9	
地区	海津市海津町	914	813	279	107	8	44	24
		100.0	88.9	30.5	11.7	0.9	4.8	2.6
	海津市平田町	490	449	129	45	5	24	8
	100.0	91.6	26.3	9.2	1.0	4.9	1.6	
海津市南濃町	997	923	200	95	6	51	20	
	100.0	92.6	20.1	9.5	0.6	5.1	2.0	

2 - 7 海津市の施設の利用状況

問8 あなたは次にあげる海津市内の施設等に行ったことがありますか。(いくつでも)

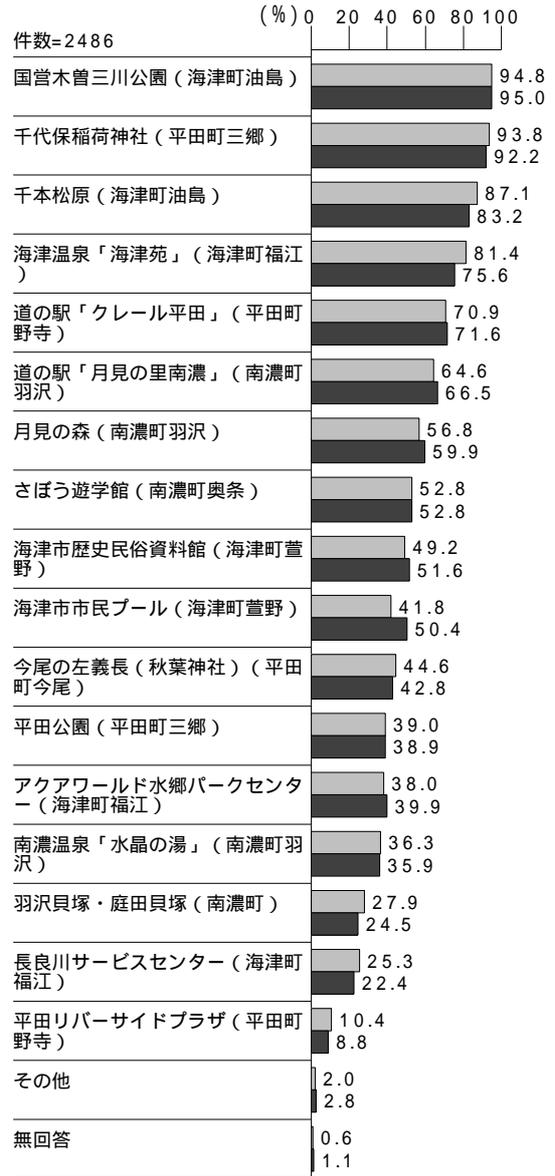
海津市の施設の利用状況をみると、利用率が高い施設は、「国営木曾三川公園（海津町油島）」が94.8%、「千代保稲荷神社（平田町三郷）」が93.0%、「千本松原（海津町油島）」が85.3%、「海津温泉「海津苑」（海津町福江）」が78.7%、「道の駅「クレール平田」（平田町野寺）」が71.2%などとなっている。一方、利用率が最も低い施設は、「平田リバーサイドプラザ（平田町野寺）」で9.6%となっている。



性別で見ると、「海津市市民プール(海津町萱野)」の利用は、男性(41.8%)よりも女性(50.4%)に多くなっている。

年齢別で見ると、「海津市市民プール(海津町萱野)」「羽沢貝塚・庭田貝塚(南濃町)」の利用は20歳未満と20歳代で多く、「月見の森(南濃町羽沢)」「さぼう遊学館(南濃町奥条)」「海津市歴史民俗資料館(海津町萱野)」の利用は20歳未満で多くなっている。また、「海津温泉「海津苑」(海津町福江)」は50歳代以上の各年齢層で、「道の駅「月見の里南濃」(南濃町羽沢)」は50歳代、60歳代で、「南濃温泉「水晶の湯」(南濃町羽沢)」は60歳代での利用が多くなっている。

地区別で見ると、「海津市歴史民俗資料館(海津町萱野)」「アクアワールド水郷パークセンター(海津町福江)」などは海津町地区で、「平田公園(平田町三郷)」「道の駅「クレール平田」(平田町野寺)」などは平田町地区で、「道の駅「月見の里南濃」(南濃町羽沢)」「羽沢貝塚・庭田貝塚(南濃町)」などは南濃町地区で多くなっているなど、身近な場所にある施設の利用が多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

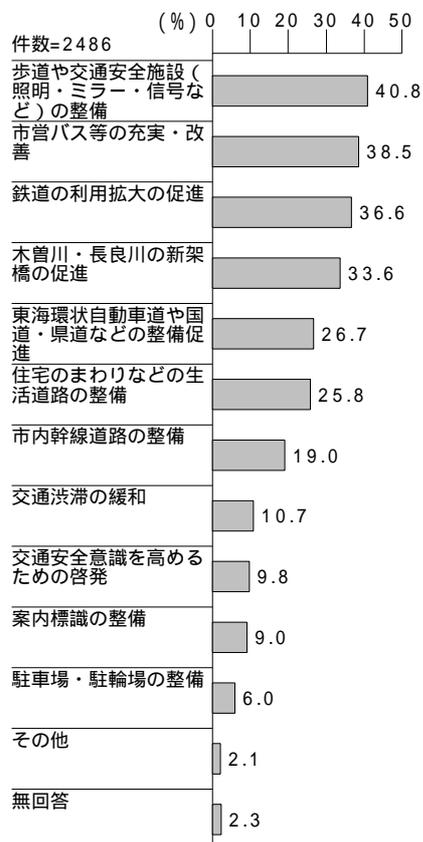
上段:実数 下段:(%)	件数	施設名																		その他	無回答
		津町油島(海津町)	千代保稲荷神社(平田町)	千本松原(海津町油島)	海津温泉「海津苑」(海津町福江)	道の駅「クレール平田」(平田町野寺)	道の駅「月見の里南濃」(南濃町羽沢)	月見の森(南濃町羽沢)	さぼう遊学館(南濃町奥条)	海津市歴史民俗資料館(海津町萱野)	海津市市民プール(海津町萱野)	今尾の左義長(秋葉神社)(平田町今尾)	平田公園(平田町三郷)	アクアワールド水郷パークセンター(海津町福江)	南濃温泉「水晶の湯」(南濃町羽沢)	羽沢貝塚・庭田貝塚(南濃町)	長良川サービスセンター(海津町福江)	平田リバーサイドプラザ(平田町野寺)			
体	2486	2357	2311	2120	1957	1770	1630	1449	1315	1256	1141	1086	971	967	895	653	593	239	58	22	
20歳未満(16-19歳)	110	106	95	82	71	53	56	95	78	79	96	37	42	38	24	43	33	2	3	-	
20歳代	248	243	232	208	169	161	140	173	111	131	176	86	90	67	68	83	46	17	7	-	
30歳代	328	320	302	261	211	245	208	188	152	89	183	111	149	150	108	66	78	39	7	1	
40歳代	367	356	348	312	273	290	236	225	230	193	251	176	174	179	108	93	104	47	8	1	
50歳代	510	485	489	454	426	393	365	284	266	261	224	235	187	202	193	118	117	51	11	1	
60歳代	432	408	404	386	378	335	320	250	238	244	118	213	177	198	204	118	107	49	12	7	
70歳以上	451	403	406	382	399	269	281	211	219	237	79	216	137	120	178	123	98	33	10	10	
海津市海津町	914	881	859	817	809	663	502	454	346	662	541	373	317	508	256	147	340	59	24	7	
海津市平田町	490	461	474	408	347	428	231	215	152	190	172	424	393	141	113	54	79	112	9	3	
海津市南濃町	997	938	960	820	734	619	835	730	777	363	404	253	234	287	493	434	150	62	24	10	

3 将来のまちづくりについて

3 - 1 交通に関する施策の力点

問9 交通に関しては、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。
(3つ以内)

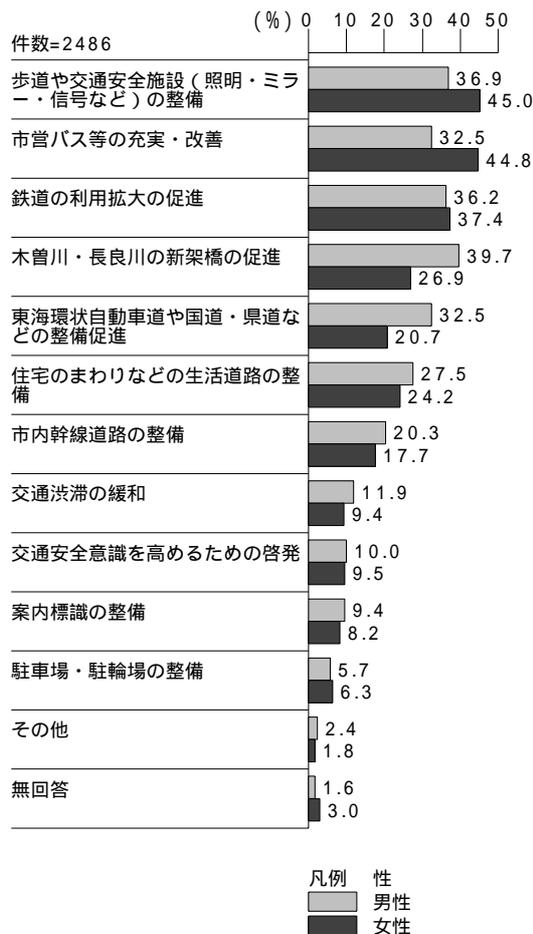
交通に関する施策の力点は、「歩道や交通安全施設（照明・ミラー・信号など）の整備」(40.8%)が4割以上を占めて最も多く、これに「市営バス等の充実・改善」(38.5%)、「鉄道の利用拡大の促進」(36.6%)、「木曽川・長良川の新架橋の促進」(33.6%)が3割台で続いている。



性別でみると、「木曽川・長良川の新架橋の促進」「東海環状自動車道や国道・県道などの整備促進」は女性よりも男性に多く、「歩道や交通安全施設（照明・ミラー・信号など）の整備」「市営バス等の充実・改善」は男性よりも女性に多くなっている。

年齢別でみると、「木曽川・長良川の新架橋の促進」は20歳代から60歳代の各年齢層で3割以上を占めている。「鉄道の利用拡大の促進」は、20歳未満で63.6%を占めている。

地区別でみると、「木曽川・長良川の新架橋の促進」「交通渋滞の緩和」は海津町地区で、「市営バス等の充実・改善」は平田町地区で、「鉄道の利用拡大の促進」「東海環状自動車道や国道・県道などの整備促進」「住宅のまわりなどの生活道路の整備」は南濃町地区で多くなっている。

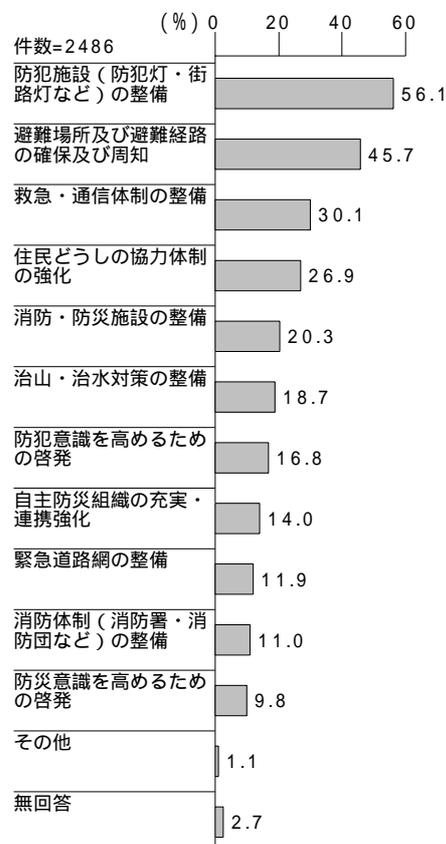


	件数	上段:実数 下段:(%)													
		歩道や交通安全施設(照明・ミラー・信号など)の整備	市営バス等の充実・改善	鉄道の利用拡大の促進	木曽川・長良川の新架橋の促進	東海環状自動車道や国道・県道などの整備促進	住宅のまわりなどの生活道路の整備	市内幹線道路の整備	交通渋滞の緩和	交通安全意識を高めるための啓発	案内標識の整備	駐車場・駐輪場の整備	その他	無回答	
全体	2486	1014	957	911	836	663	641	473	266	244	224	148	51	58	
	100.0	40.8	38.5	36.6	33.6	26.7	25.8	19.0	10.7	9.8	9.0	6.0	2.1	2.3	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110	42	44	70	24	22	18	10	9	9	10	2	1	
		100.0	38.2	40.0	63.6	21.8	20.0	16.4	9.1	8.2	8.2	9.1	1.8	0.9	
	20歳代	248	91	86	117	97	64	57	39	31	21	12	16	6	
		100.0	36.7	34.7	47.2	39.1	25.8	23.0	15.7	12.5	8.5	4.8	6.5	2.4	
	30歳代	328	151	132	127	112	87	79	42	41	24	10	19	10	
		100.0	46.0	40.2	38.7	34.1	26.5	24.1	12.8	12.5	7.3	3.0	5.8	3.0	
	40歳代	367	167	161	150	111	101	73	68	36	24	17	23	8	
	100.0	45.5	43.9	40.9	30.2	27.5	19.9	18.5	9.8	6.5	4.6	6.3	2.2		
50歳代	510	207	166	180	191	125	141	113	72	55	51	22	9		
	100.0	40.6	32.5	35.3	37.5	24.5	27.6	22.2	14.1	10.8	10.0	4.3	1.8		
60歳代	432	177	156	120	151	126	125	102	43	55	58	32	10		
	100.0	41.0	36.1	27.8	35.0	29.2	28.9	23.6	10.0	12.7	13.4	7.4	2.3		
70歳以上	451	164	202	137	134	128	138	93	29	52	62	24	5		
	100.0	36.4	44.8	30.4	29.7	28.4	30.6	20.6	6.4	11.5	13.7	5.3	1.1		
地区	海津市海津町	914	353	366	284	444	212	170	125	180	92	84	49	19	
		100.0	38.6	40.0	31.1	48.6	23.2	18.6	13.7	19.7	10.1	9.2	5.4	2.1	
	海津市平田町	490	217	254	145	102	119	110	98	19	53	56	35	9	
	100.0	44.3	51.8	29.6	20.8	24.3	22.4	20.0	3.9	10.8	11.4	7.1	1.8		
海津市南濃町	997	415	312	460	252	307	334	228	58	87	77	62	22		
	100.0	41.6	31.3	46.1	25.3	30.8	33.5	22.9	5.8	8.7	7.7	6.2	2.2		

3 - 2 消防・救急体制、防災等に関する施策の力点

問10 消防・救急体制、防災等に関しては、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（3つ以内）

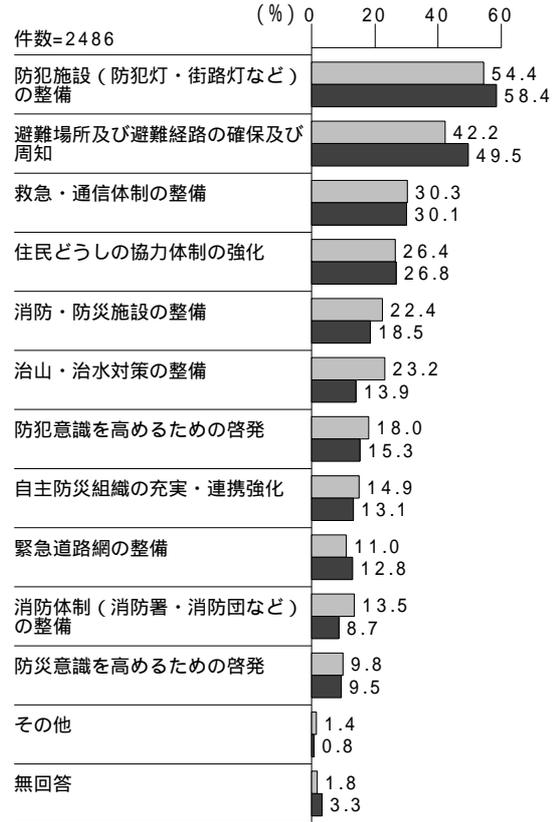
消防・救急体制、防災等に関する施策の力点は、「防犯施設（防犯灯・街路灯など）の整備」が56.1%で最も多く、次いで「避難場所及び避難経路の確保及び周知」が45.7%、「救急・通信体制の整備」が30.1%、「住民どうしの協力体制の強化」が26.9%、「消防・防災施設の整備」が20.3%、「治山・治水対策の整備」が18.7%、「防犯意識を高めるための啓発」が16.8%、「自主防災組織の充実・連携強化」が14.0%、「緊急道路網の整備」が11.9%、「消防体制（消防署・消防団など）の整備」が11.0%、「防災意識を高めるための啓発」が9.8%、「その他」が1.1%、「無回答」が2.7%と続いている。



性別でみると、「治山・治水対策の整備」は女性よりも男性に多く、「避難場所及び避難経路の確保及び周知」は男性よりも女性に多くなっている。

年齢別でみると、「防犯施設（防犯灯・街路灯など）の整備」は、30歳代、40歳代で多くなっている。「住民どうしの協力体制の強化」は、60歳代、70歳以上の高齢層に多くなっている。

地区別でみると、「防犯施設（防犯灯・街路灯など）の整備」は、平田町地区では65.1%と他の地区より多くなっている。



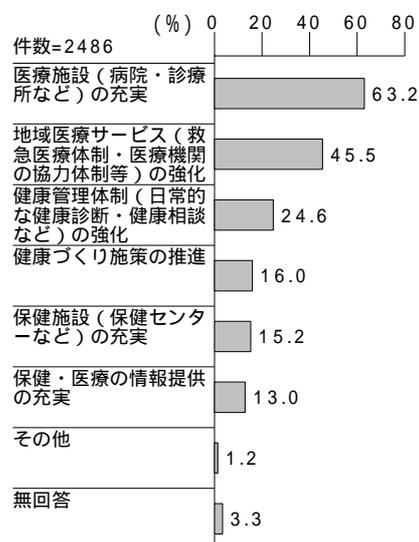
凡例 性
 男性
 女性

	件数	上段：実数 下段：(%)													
		防犯施設（防犯灯・街路灯など）の整備	避難場所及び避難経路の確保及び周知	救急・通信体制の整備	住民どうしの協力体制の強化	消防・防災施設の整備	治山・治水対策の整備	防災意識を高めるための啓発	自主防災組織の充実・連携強化	緊急道路網の整備	消防体制（消防署・消防団など）の整備	防災意識を高めるための啓発	その他	無回答	
全体	2486	1394	1137	748	669	505	465	417	349	296	273	244	28	66	
	100.0	56.1	45.7	30.1	26.9	20.3	18.7	16.8	14.0	11.9	11.0	9.8	1.1	2.7	
年齢	20歳未満（16～19歳）	110	63	53	33	18	31	14	15	14	6	13	-	1	
		100.0	57.3	48.2	30.0	16.4	28.2	12.7	13.6	12.7	14.5	5.5	11.8	-	0.9
	20歳代	248	134	123	86	50	37	55	45	31	31	29	5	3	
		100.0	54.0	49.6	34.7	20.2	14.9	22.2	18.1	12.5	12.5	11.7	10.1	2.0	1.2
	30歳代	328	228	137	106	61	61	41	48	29	36	44	35	2	5
		100.0	69.5	41.8	32.3	18.6	18.6	12.5	14.6	8.8	11.0	13.4	10.7	0.6	1.5
	40歳代	367	232	153	133	80	64	67	35	49	36	32	6	8	
	100.0	63.2	41.7	36.2	21.8	17.4	16.9	18.3	9.5	13.4	9.8	8.7	1.6	2.2	
50歳代	510	286	246	170	123	116	107	72	93	67	66	46	4	2	
	100.0	56.1	48.2	33.3	24.1	22.7	21.0	14.1	18.2	13.1	12.9	9.0	0.8	0.4	
60歳代	432	207	214	102	171	90	82	80	77	48	47	42	6	13	
	100.0	47.9	49.5	23.6	39.6	20.8	19.0	18.5	17.8	11.1	10.9	9.7	1.4	3.0	
70歳以上	451	226	192	109	153	99	95	83	65	43	43	46	5	30	
	100.0	50.1	42.6	24.2	33.9	22.0	21.1	18.4	14.4	9.5	9.5	10.2	1.1	6.7	
地区	海津市海津町	914	478	448	250	246	177	198	160	150	97	76	115	6	27
		100.0	52.3	49.0	27.4	26.9	19.4	21.7	17.5	16.4	10.6	8.3	12.6	0.7	3.0
	海津市平田町	490	319	189	165	118	102	71	81	62	47	80	35	7	9
	100.0	65.1	38.6	33.7	24.1	20.8	14.5	16.5	12.7	9.6	16.3	7.1	1.4	1.8	
海津市南濃町	997	553	456	311	277	211	175	165	128	140	105	85	15	27	
	100.0	55.5	45.7	31.2	27.8	21.2	17.6	16.5	12.8	14.0	10.5	8.5	1.5	2.7	

3 - 3 保健・医療に関する施策の力点

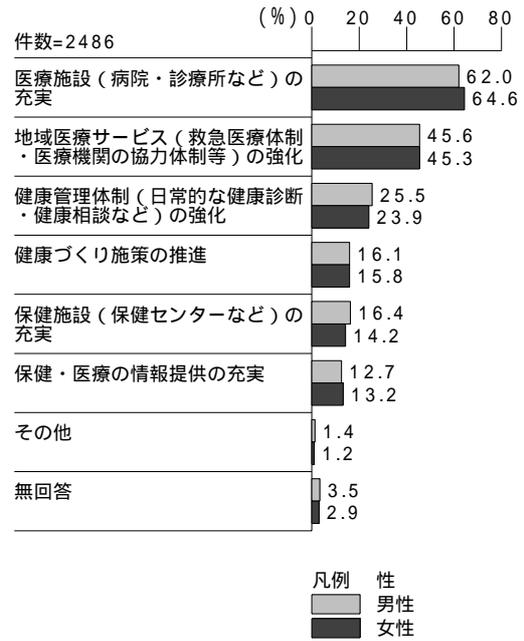
問11 保健・医療に関しては、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（2つ以内）

保健・医療に関する施策の力点は、「医療施設（病院・診療所など）の充実」が63.2%で最も多く、次いで「地域医療サービス（救急医療体制・医療機関の協力体制等）の強化」が45.5%、「健康管理体制（日常的な健康診断・健康相談など）の強化」が24.6%となっている。



性別でも顕著な差はみられない。
 年齢別で見ると、「医療施設（病院・診療所など）の充実」は30歳代で、「地域医療サービス（救急医療体制・医療機関の協力体制）の強化」は40歳代で、「健康づくり施策の推進」は60歳代で多くなっている。

地区別でも顕著な差はみられない。



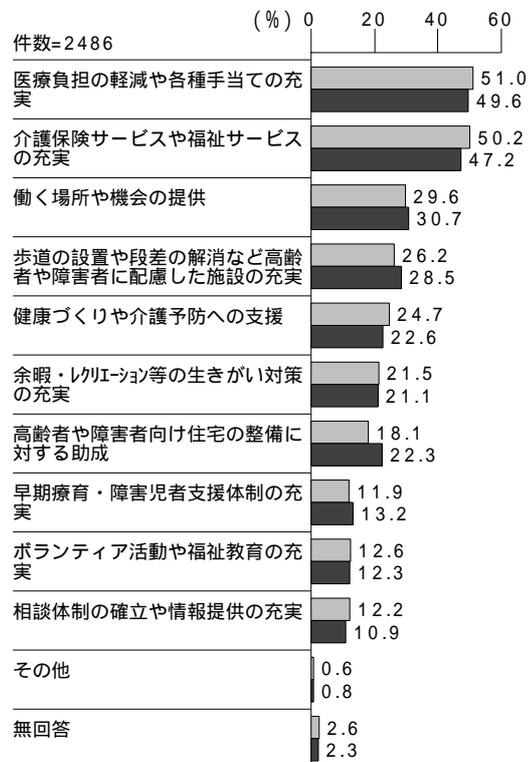
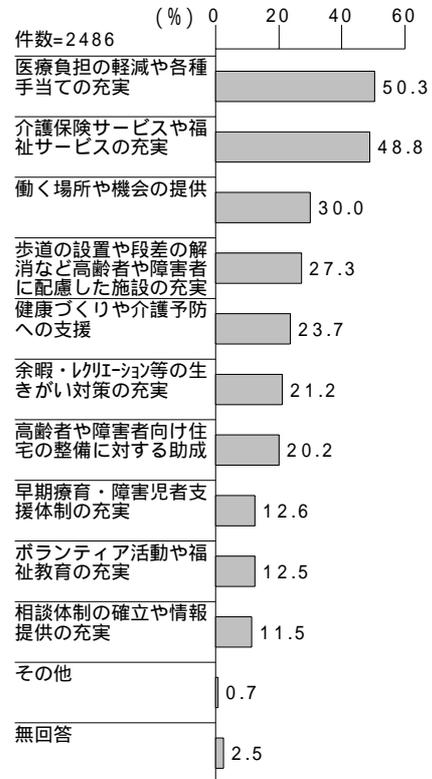
	件数	上段：実数 下段：(%)									
		医療施設（病院・診療所など）の充実	地域医療サービス（救急医療体制・医療機関の協力体制等）の強化	健康管理体制（日常的な健康診断・健康相談など）の強化	健康づくり施策の推進	保健施設（保健センターなど）の充実	保健・医療の情報提供の充実	その他	無回答		
全体	2486	1571	1130	612	397	379	324	31	82		
	100.0	63.2	45.5	24.6	16.0	15.2	13.0	1.2	3.3		
年齢	20歳未満（16～19歳）	110	72	45	30	13	15	10	2	2	
		100.0	65.5	40.9	27.3	11.8	13.6	9.1	1.8	1.8	
	20歳代	248	171	107	62	18	48	35	1	4	
		100.0	69.0	43.1	25.0	7.3	19.4	14.1	0.4	1.6	
	30歳代	328	237	168	61	30	50	40	7	6	
		100.0	72.3	51.2	18.6	9.1	15.2	12.2	2.1	1.8	
	40歳代	367	241	214	64	43	43	44	10	4	
		100.0	65.7	58.3	17.4	11.7	11.7	12.0	2.7	1.1	
50歳代	510	325	248	136	96	53	77	5	8		
	100.0	63.7	48.6	26.7	18.8	10.4	15.1	1.0	1.6		
60歳代	432	245	185	124	110	69	51	3	17		
	100.0	56.7	42.8	28.7	25.5	16.0	11.8	0.7	3.9		
70歳以上	451	259	146	125	83	95	58	3	37		
	100.0	57.4	32.4	27.7	18.4	21.1	12.9	0.7	8.2		
地区	海津市海津町	914	596	421	217	149	125	111	12	32	
		100.0	65.2	46.1	23.7	16.3	13.7	12.1	1.3	3.5	
	海津市平田町	490	294	215	128	74	75	73	5	18	
	100.0	60.0	43.9	26.1	15.1	15.3	14.9	1.0	3.7		
海津市南濃町	997	625	464	243	162	165	129	14	26		
	100.0	62.7	46.5	24.4	16.2	16.5	12.9	1.4	2.6		

3 - 4 高齢者や障害者に関する施策の力点

問12 高齢者や障害者施策に関しては、今後どのような対策が必要だと思いますか。
(3つ以内)

高齢者や障害者に関する施策の力点は、「医療負担の軽減や各種手当の充実」が50.3%で最も多く、次いで「介護保険サービスや福祉サービスの充実」が48.8%、「働く場所や機会の提供」が30.0%となっている。

性別でみると、「高齢者や障害者向けの住宅の整備に関する助成」は、男性よりも女性に多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「歩道の設置や段差の解消など高齢者や障害者に配慮した施設の充実」は20歳未満、20歳代と70歳以上で多く、「介護保険サービスや福祉サービスの充実」は40歳代で多くなっている。「健康づくりや介護予防への支援」は、60歳代、70歳以上の年齢層で多くなっている。

地区別でみると、「介護保険サービスや福祉サービスの充実」は、平田町地区で多くなっている。

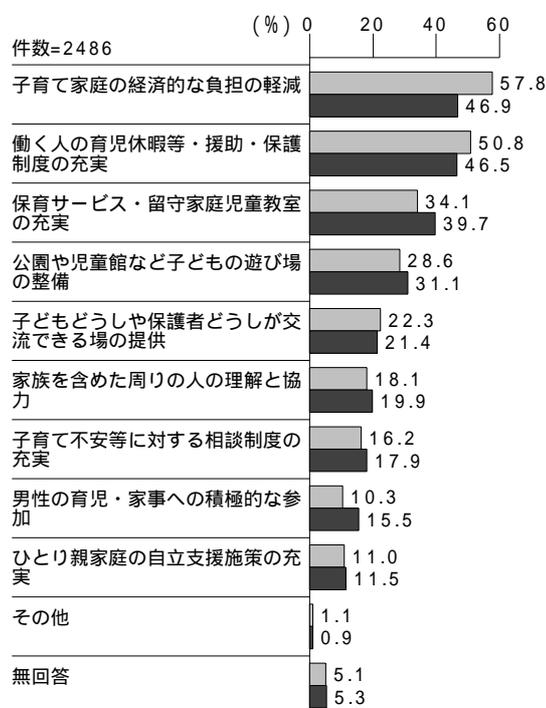
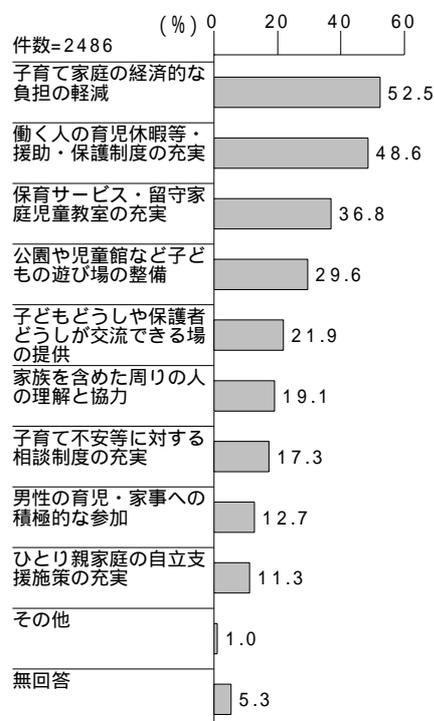
	件数	上段：実数 下段：(%)										無回答		
		医療負担の軽減や各種手当ての充実	介護保険サービスや福祉サービスの充実	働く場所や機会の提供	歩道の設置や段差の解消など高齢者や障害者に配慮した施設の充実	健康づくりや介護予防への支援	余暇・休日・夜間等の生活の充実	高齢者や障害者向け住宅の整備	早期療育・障害児者支援体制の充実	ボランティア活動や福祉教育の充実	相談体制の確立や情報提供の充実		その他	
全体	2486 100.0	1251 50.3	1213 48.8	747 30.0	678 27.3	590 23.7	526 21.2	501 20.2	312 12.6	311 12.5	287 11.5	17 0.7	63 2.5	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	43 39.1	52 47.3	34 30.9	40 36.4	16 14.5	26 23.6	23 20.9	18 16.4	6 5.5	-	-	
	20歳代	248 100.0	109 44.0	107 43.1	78 31.5	88 35.5	48 19.4	63 25.4	57 23.0	32 12.9	41 16.5	20 8.1	1 0.4	3 1.2
	30歳代	328 100.0	159 48.5	155 47.3	115 35.1	78 23.8	53 16.2	63 19.2	63 19.2	59 18.0	43 13.1	36 11.0	3 0.9	7 2.1
	40歳代	367 100.0	180 49.0	202 55.0	131 35.7	80 21.8	66 18.0	66 18.0	82 22.3	53 14.4	46 12.5	45 12.3	4 1.1	5 1.4
	50歳代	510 100.0	266 52.2	255 50.0	183 35.9	109 21.4	120 23.5	113 22.2	109 21.4	64 12.5	58 11.4	72 14.1	6 1.2	9 1.8
	60歳代	432 100.0	235 54.4	201 46.5	121 28.0	117 27.1	133 30.8	105 24.3	75 17.4	43 10.0	54 12.5	50 11.6	1 0.2	9 2.1
	70歳以上	451 100.0	239 53.0	222 49.2	73 16.2	156 34.6	145 32.2	85 18.8	86 19.1	39 8.6	47 10.4	53 11.8	2 0.4	27 6.0
地区	海津市海津町	914 100.0	464 50.8	449 49.1	280 30.6	250 27.4	217 23.7	205 22.4	168 18.4	114 12.5	112 12.3	112 12.3	9 1.0	20 2.2
	海津市平田町	490 100.0	240 49.0	261 53.3	128 26.1	106 21.6	124 25.3	99 20.2	108 22.0	69 14.1	58 11.8	39 8.0	3 0.6	19 3.9
	海津市南濃町	997 100.0	503 50.5	464 46.5	312 31.3	301 30.2	232 23.3	212 21.3	208 20.9	122 12.2	131 13.1	125 12.5	5 0.5	16 1.6

3 - 5 子育てに関する施策の力点

問13 子育て支援などに関しては、今後どのような対策が必要だと思いますか。（3つ以内）

子育てに関する施策の力点は、「子育て家庭の経済的な負担の軽減」が52.5%で最も多く、次いで「働く人の育児休暇等・援助・保護体制の充実」が48.6%、「保育サービス・留守家庭児童教室の充実」が36.8%となっている。

性別でみると、「子育て家庭の経済的な負担の軽減」は、女性よりも男性に多く、「保育サービス・留守家庭児童教室の充実」「男性の育児・家事への積極的な参加」は、男性よりも女性に多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「子育て家庭の経済的な負担の軽減」は、20歳代と30歳代で多く、「公園や児童館など子どもの遊び場の整備」は30歳代で多くなっている。

地区別でみると、「公園や児童館など子どもの遊び場の整備」は、南濃町地区で多くなっている。

	件数	子育て家庭の経済的な負担の軽減	働く人の育児休暇等・援助・保護制度の充実	育児サービス・留守家庭児童教室の充実	公園や児童館など子どもの遊び場の整備	子どもどうしや保護者どうしが交流できる場の提供	家族を含めた周りの人の理解と協力の提供	相談制度の充実 子育て不安等に対する	積極的な参加 男性の育児・家事への	ひとり親家庭の自立支援	その他	無回答	
上段：実数 下段：(%)													
全体	2486 100.0	1304 52.5	1207 48.6	915 36.8	735 29.6	544 21.9	474 19.1	429 17.3	316 12.7	281 11.3	25 1.0	133 5.3	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	46 41.8	59 53.6	29 26.4	35 31.8	31 28.2	14 12.7	15 13.6	26 23.6	10 9.1	- -	2 1.8
	20歳代	248 100.0	156 62.9	140 56.5	97 39.1	74 29.8	55 22.2	25 10.1	28 11.3	46 18.5	29 11.7	5 2.0	5 2.0
	30歳代	328 100.0	217 66.2	148 45.1	141 43.0	155 47.3	51 15.5	37 11.3	32 9.8	46 14.0	23 7.0	3 0.9	7 2.1
	40歳代	367 100.0	187 51.0	177 48.2	162 44.1	105 28.6	68 18.5	52 14.2	59 16.1	49 13.4	43 11.7	3 0.8	7 1.9
	50歳代	510 100.0	256 50.2	260 51.0	215 42.2	126 24.7	113 22.2	98 19.2	121 23.7	63 12.4	72 14.1	5 1.0	14 2.7
	60歳代	432 100.0	230 53.2	211 48.8	137 31.7	127 29.4	113 26.2	106 24.5	85 19.7	34 7.9	46 10.6	7 1.6	25 5.8
	70歳以上	451 100.0	192 42.6	196 43.5	118 26.2	103 22.8	107 23.7	133 29.5	81 18.0	51 11.3	53 11.8	2 0.4	66 14.6
地区	海津市海津町	914 100.0	477 52.2	461 50.4	329 36.0	255 27.9	190 20.8	181 19.8	155 17.0	109 11.9	111 12.1	11 1.2	46 5.0
	海津市平田町	490 100.0	262 53.5	255 52.0	183 37.3	127 25.9	104 21.2	95 19.4	85 17.3	62 12.7	52 10.6	2 0.4	25 5.1
	海津市南濃町	997 100.0	517 51.9	459 46.0	374 37.5	330 33.1	233 23.4	179 18.0	174 17.5	137 13.7	108 10.8	12 1.2	51 5.1

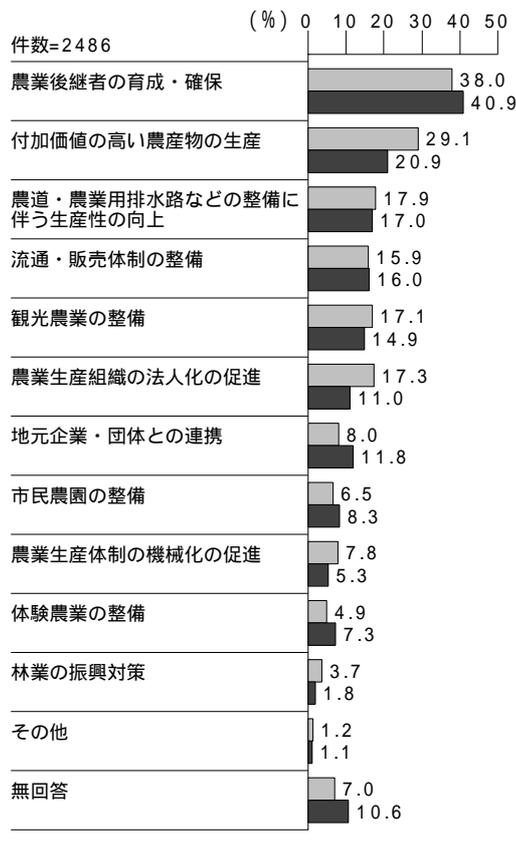
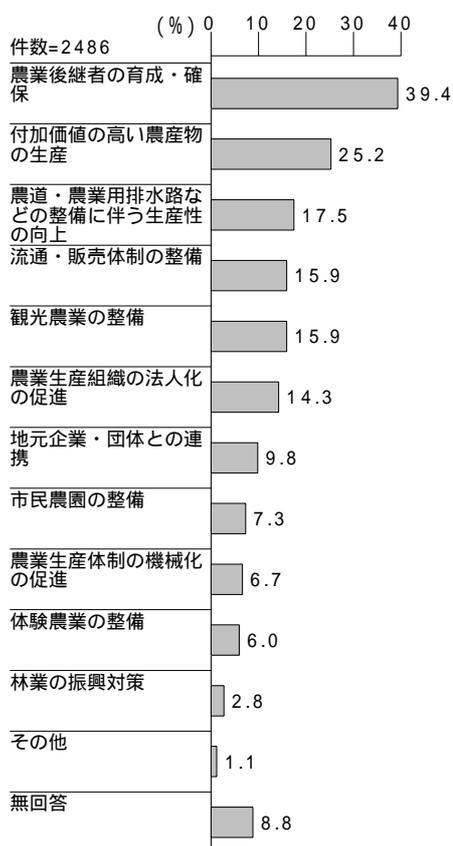
3 - 6 産業振興に関する施策の力点

問14 産業振興に関しては、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（各2つ以内）

問14 産業振興（農林業）に関する施策の力点

産業振興に関する施策の力点は、農林業に関しては、「農業後継者の育成・確保」が39.4%で最も多く、次いで「付加価値の高い農産物の生産」が25.2%、「農道・農業用排水路などの整備に伴う生産性の向上」が17.5%となっている。

性別でみると、「付加価値の高い農産物の生産」「農業生産組織の法人化の促進」は女性よりも男性に多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「付加価値の高い農産物の生産」は、40歳代、50歳代、60歳代で多くなっている。「観光農業の整備」は、40歳代以下の年齢層で多くなっている。

地区別でみると、「農業生産体制の機械化の促進」は、海津町地区と平田町地区で多くなっている。

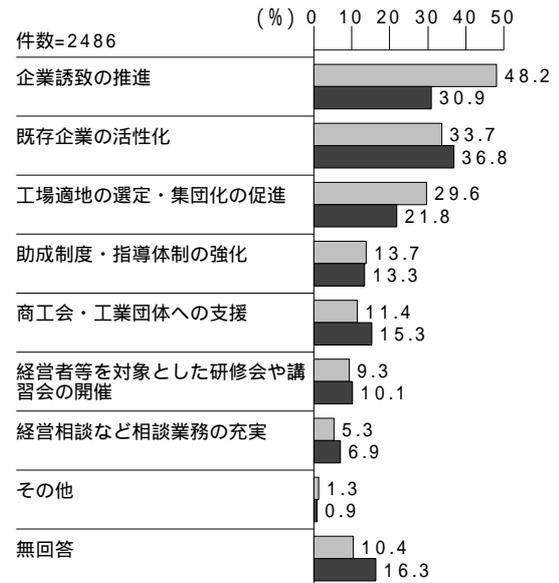
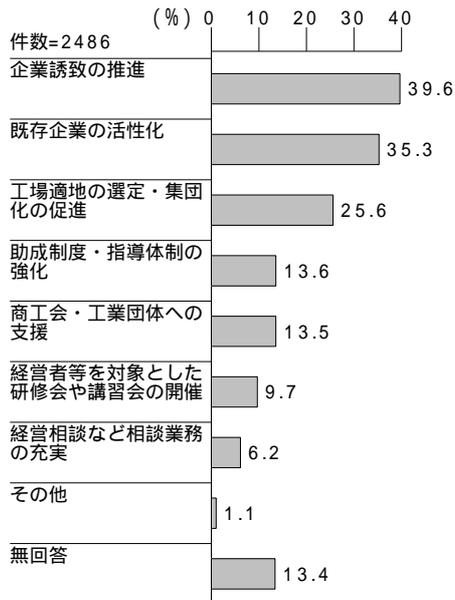
職業別でみると、「農業後継者の育成・確保」「農道・農業用排水路などの整備に伴う生産性の向上」「農業生産体制の機械化の促進」は農業での回答が多くなっている。

	件数	農業後継者の育成・確保	付加価値の高い農産物の生産	農道・農業用排水路などの整備に伴う生産性の向上	流通・販売体制の整備	観光農業の整備	農業生産組織の法人化	地元企業・団体との連携	市民農園の整備	農業生産体制の機械化	体験農業の整備	林業の振興対策	その他	無回答	
全体	2486 100.0	979 39.4	626 25.2	436 17.5	396 15.9	395 15.9	356 14.3	243 9.8	182 7.3	166 6.7	149 6.0	69 2.8	28 1.1	219 8.8	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	41 37.3	16 14.5	26 23.6	18 16.4	22 20.0	8 7.3	10 9.1	8 7.3	11 10.0	13 11.8	1 0.9	- -	5 4.5
	20歳代	248 100.0	91 36.7	54 21.8	48 19.4	38 15.3	45 18.1	30 12.1	31 12.5	15 6.0	13 5.2	23 9.3	3 1.2	4 1.6	14 5.6
	30歳代	328 100.0	124 37.8	73 22.3	57 17.4	49 14.9	66 20.1	19 5.8	42 12.8	24 7.3	17 5.2	30 9.1	9 2.7	4 1.2	26 7.9
	40歳代	367 100.0	144 39.2	105 28.6	55 15.0	54 14.7	66 18.0	58 15.8	44 12.0	25 6.8	30 8.2	21 5.7	4 1.1	8 2.2	16 4.4
	50歳代	510 100.0	185 36.3	146 28.6	70 13.7	105 20.6	86 16.9	92 18.0	49 9.6	48 9.4	27 5.3	28 5.5	15 2.9	6 1.2	34 6.7
	60歳代	432 100.0	178 41.2	121 28.0	85 19.7	69 16.0	48 11.1	66 15.3	32 7.4	36 8.3	31 7.2	24 5.6	15 3.5	2 0.5	51 11.8
	70歳以上	451 100.0	201 44.6	102 22.6	87 19.3	58 12.9	73 16.2	34 7.5	23 5.1	35 7.8	8 1.8	20 4.4	4 0.9	68 15.1	
地区	海津市海津町	914 100.0	372 40.7	225 24.6	163 17.8	164 17.9	147 16.1	129 14.1	83 9.1	65 7.1	74 8.1	50 5.5	13 1.4	12 1.3	68 7.4
	海津市平田町	490 100.0	191 39.0	120 24.5	92 18.8	59 12.0	81 16.5	81 10.2	50 6.7	33 10.2	50 5.9	29 0.2	1 0.8	4 8.2	
	海津市南濃町	997 100.0	379 38.0	260 26.1	165 16.5	163 16.3	159 15.9	133 13.3	104 10.4	76 7.6	38 3.8	67 6.7	53 5.3	12 1.2	97 9.7
職業	農業	254 100.0	127 50.0	68 26.8	65 25.6	49 19.3	24 9.4	46 18.1	12 4.7	7 2.8	38 15.0	8 3.1	7 2.8	3 1.2	14 5.5
	自営業	249 100.0	86 34.5	72 28.9	31 12.4	41 16.5	37 14.9	37 14.9	32 12.9	19 7.6	16 6.4	10 4.0	5 2.0	2 0.8	25 10.0
	会社員・公務員・団体職員	772 100.0	292 37.8	211 27.3	135 17.5	125 16.2	150 19.4	116 15.0	76 9.8	54 7.0	52 6.7	53 6.9	24 3.1	11 1.4	41 5.3
	アルバイト・パート	303 100.0	119 39.3	77 25.4	43 14.2	43 14.2	51 16.8	38 12.5	33 10.9	29 9.6	13 4.3	24 7.9	5 1.7	2 0.7	32 10.6
	専業主婦	253 100.0	91 36.0	49 19.4	49 19.4	52 20.6	34 13.4	25 9.9	36 14.2	20 7.9	11 4.3	15 5.9	7 2.8	1 0.4	24 9.5
	学生・生徒	143 100.0	54 37.8	25 17.5	29 20.3	22 15.4	22 15.4	15 10.5	18 12.6	11 7.7	13 9.1	18 12.6	-	-	9 6.3
	無職	414 100.0	172 41.5	97 23.4	65 15.7	52 12.6	57 13.8	65 15.7	31 7.5	33 8.0	19 4.6	16 3.9	19 4.6	4 1.0	66 15.9
	その他	66 100.0	25 37.9	19 28.8	11 16.7	7 10.6	17 25.8	8 12.1	3 4.5	8 12.1	2 3.0	4 6.1	1 1.5	5 7.6	4 6.1

問14 産業振興（工業）に関する施策の力点

工業については、「企業誘致の推進」が39.6%で最も多く、次いで「既存企業の活性化」が35.3%、「工場適地の選定・集団化の促進」が25.6%となっている。

性別でみると、「企業誘致の促進」「工場適地の選定・集団化の促進」は男性に多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「企業誘致の推進」は、40歳代、50歳代で多く、「既存企業の活性化」は40歳代以下の年齢層で多くなっている。

地区別でみると、「企業誘致の推進」は、平田町地区で多くなっている。

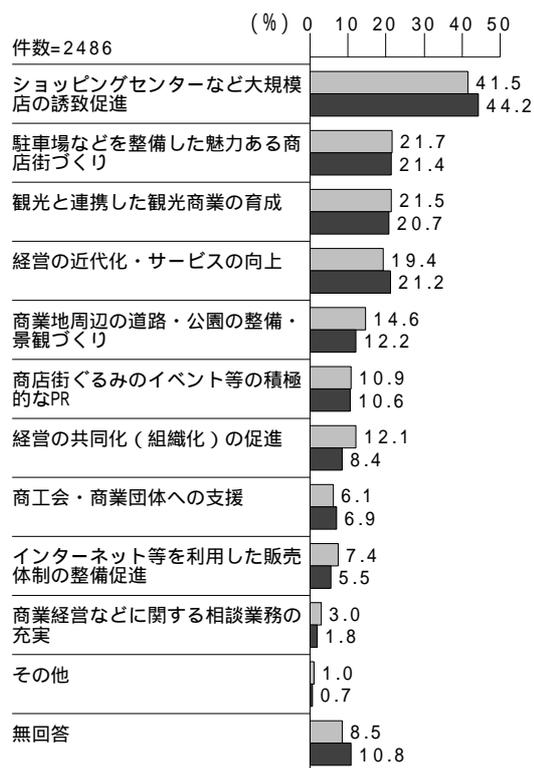
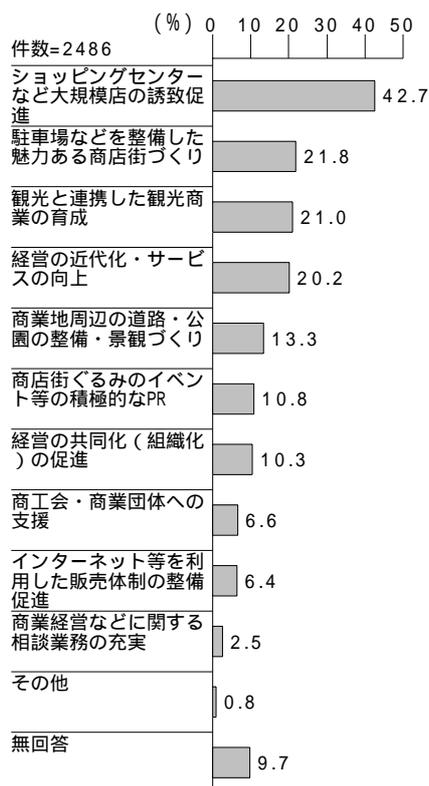
職業別でみると、「企業誘致の推進」は、自営業、会社員・公務員・団体職員、その他で多く、「商工会・工業団体への支援」は自営業で多くなっている。また、「既存企業の活性化」は、会社員・公務員・団体職員、アルバイト・パート、専業主婦、学生・生徒に多くなっている。

	件数	企業誘致の推進	既存企業の活性化	工場適地の選定・集団	助成制度・指導体制の強化	商工会・工業団体への支援	経営者層等を対象とした研修会や講習会の開催	経営相談など相談業務の充実	その他	無回答	
全体	2486 100.0	984 39.6	877 35.3	637 25.6	339 13.6	335 13.5	241 9.7	153 6.2	27 1.1	333 13.4	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	34 30.9	53 48.2	24 21.8	11 10.0	20 18.2	12 10.9	8 7.3	- -	5 4.5
	20歳代	248 100.0	78 31.5	114 46.0	40 16.1	39 15.7	38 15.3	35 14.1	20 8.1	4 1.6	18 7.3
	30歳代	328 100.0	115 35.1	143 43.6	70 21.3	44 13.4	42 12.8	29 8.8	19 5.8	8 2.4	28 8.5
	40歳代	367 100.0	163 44.4	153 41.7	102 27.8	54 14.7	44 12.0	16 4.4	18 4.9	6 1.6	23 6.3
	50歳代	510 100.0	254 49.8	155 30.4	164 32.2	71 13.9	60 11.8	56 11.0	30 5.9	4 0.8	43 8.4
	60歳代	432 100.0	167 38.7	135 31.3	117 27.1	62 14.4	62 14.4	43 10.0	19 4.4	4 0.9	88 20.4
	70歳以上	451 100.0	158 35.0	111 24.6	112 24.8	52 11.5	62 13.7	48 10.6	34 7.5	1 0.2	119 26.4
地区	海津市海津町	914 100.0	356 38.9	314 34.4	255 27.9	131 14.3	120 13.1	92 10.1	57 6.2	11 1.2	117 12.8
	海津市平田町	490 100.0	211 43.1	163 33.3	124 25.3	63 12.9	82 16.7	49 10.0	28 5.7	4 0.8	60 12.2
	海津市南濃町	997 100.0	387 38.8	372 37.3	237 23.8	134 13.4	123 12.3	94 9.4	62 6.2	12 1.2	135 13.5
職業	農業	254 100.0	78 30.7	67 26.4	84 33.1	36 14.2	31 12.2	28 11.0	20 7.9	3 1.2	55 21.7
	自営業	249 100.0	109 43.8	61 24.5	53 21.3	37 14.9	66 26.5	19 7.6	16 6.4	1 0.4	34 13.7
	会社員・公務員・団体職員	772 100.0	367 47.5	318 41.2	215 27.8	108 14.0	91 11.8	71 9.2	39 5.1	10 1.3	42 5.4
	アルバイト・パート	303 100.0	100 33.0	120 39.6	72 23.8	34 11.2	37 12.2	30 9.9	28 9.2	6 2.0	38 12.5
	専業主婦	253 100.0	81 32.0	104 41.1	53 20.9	34 13.4	30 11.9	23 9.1	13 5.1	-	41 16.2
	学生・生徒	143 100.0	47 32.9	61 42.7	29 20.3	19 13.3	22 15.4	16 11.2	10 7.0	-	11 7.7
	無職	414 100.0	161 38.9	109 26.3	104 25.1	56 13.5	48 11.6	45 10.9	22 5.3	2 0.5	100 24.2
	その他	66 100.0	29 43.9	24 36.4	20 30.3	8 12.1	5 7.6	8 12.1	2 3.0	5 7.6	6 9.1

問14 産業振興（商業）に関する施策の力点

商業については、「ショッピングセンターなど大規模店の誘致促進」が42.7%で最も多く、次いで、「駐車場などを整備した魅力ある商店街づくり」が21.8%、「経営の近代化・サービスの向上」が20.2%となっている。

性別でもみても顕著な差はみられない。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「ショッピングセンターなど大規模店の誘致促進」は、年齢が若いほど多く20歳未満が68.2%で最も多くなっている。「駐車場などを整備した魅力ある商店街づくり」は、60歳代、70歳以上で多くなっている。

地区別でみると、「ショッピングセンターなど大規模店の誘致促進」は、海津町地区と南濃町地区で4割以上を占めている。

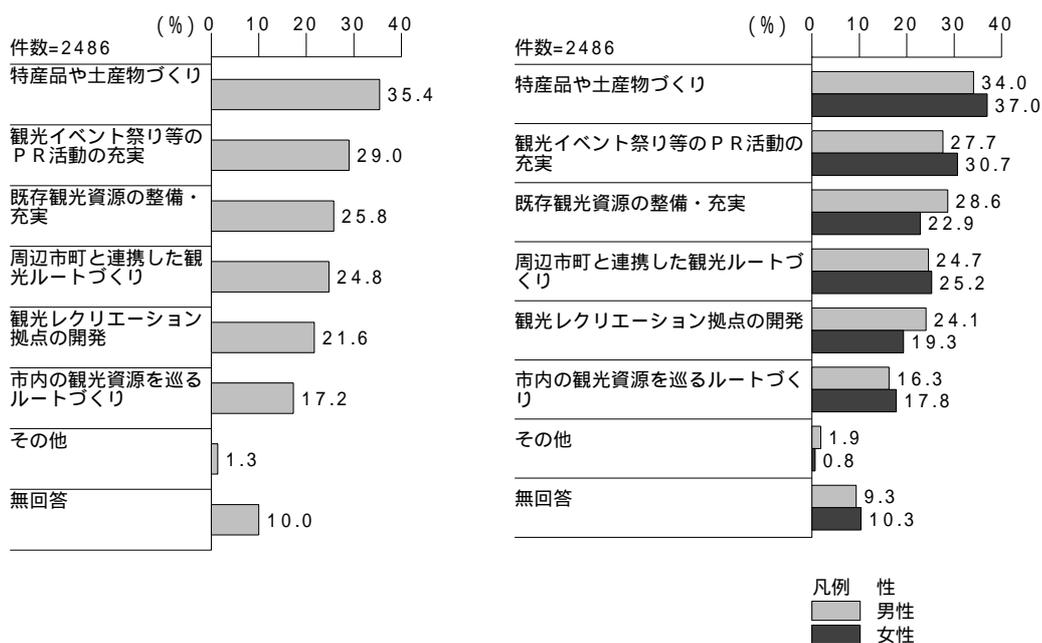
職業別でみると、「ショッピングセンターなど大規模店の誘致促進」は、学生・生徒、アルバイト・パート、会社員・公務員・団体職員で多くなっている。「商工会・商業団体への支援」は自営業で多く、「経営の共同化（組織化）の促進」は農業で多くなっている。また、「インターネット等を利用した販売体制の整備促進」は学生・生徒で多くなっている。

	件数	誘致促進											その他	無回答			
		ショッピングセンターなど大規模店の誘致促進	魅力ある商店街づくり	観光と連携した観光商	業の育成	経営の近代化・サ	スの向上	商業地周辺の道路・公	園の整備・景観づくり	商店街ぐるみのイ	ト等の積極的なPR	経営の共同化（組織化）の促進			商工会・商業団体への支援	インターネット等を利用した販売体制の整備促進	相談業務の充実
上段：実数 下段：(%)																	
全 体	2486	1061	543	521	502	330	269	257	164	160	61	21	240				
	100.0	42.7	21.8	21.0	20.2	13.3	10.8	10.3	6.6	6.4	2.5	0.8	9.7				
年 齢	20歳未満(16~19歳)	110	75	10	25	24	17	7	6	11	-	-	2				
		100.0	68.2	9.1	22.7	21.8	15.5	6.4	7.3	5.5	10.0	-	-	1.8			
	20歳代	248	137	42	52	46	46	24	20	13	25	4	3	13			
		100.0	55.2	16.9	21.0	18.5	18.5	9.7	8.1	5.2	10.1	1.6	1.2	5.2			
	30歳代	328	165	70	70	62	54	38	21	17	28	8	4	16			
		100.0	50.3	21.3	21.3	18.9	16.5	11.6	6.4	5.2	8.5	2.4	1.2	4.9			
	40歳代	367	180	73	86	81	34	31	49	28	29	8	3	14			
		100.0	49.0	19.9	23.4	22.1	9.3	8.4	13.4	7.6	7.9	2.2	0.8	3.8			
50歳代	510	205	111	120	123	65	56	52	36	30	23	5	36				
	100.0	40.2	21.8	23.5	24.1	12.7	11.0	10.2	7.1	5.9	4.5	1.0	7.1				
60歳代	432	149	112	88	76	59	54	60	24	20	8	4	61				
	100.0	34.5	25.9	20.4	17.6	13.7	12.5	13.9	5.6	4.6	1.9	0.9	14.1				
70歳以上	451	138	114	74	83	51	50	44	37	16	8	2	92				
	100.0	30.6	25.3	16.4	18.4	11.3	11.1	9.8	8.2	3.5	1.8	0.4	20.4				
地 区	海津市海津町	914	422	178	196	200	122	91	116	54	17	9	74				
		100.0	46.2	19.5	21.4	21.9	13.3	10.0	12.7	5.9	5.6	1.9	1.0	8.1			
	海津市平田町	490	170	113	118	99	49	57	58	44	35	18	3	48			
	100.0	34.7	23.1	24.1	20.2	10.0	11.6	11.8	9.0	7.1	3.7	0.6	9.8				
海津市南濃町	997	440	233	194	186	151	112	74	59	72	23	9	99				
	100.0	44.1	23.4	19.5	18.7	15.1	11.2	7.4	5.9	7.2	2.3	0.9	9.9				
職 業	農業	254	73	57	58	46	24	29	42	13	14	7	4	41			
		100.0	28.7	22.4	22.8	18.1	9.4	11.4	16.5	5.1	5.5	2.8	1.6	16.1			
	自営業	249	74	57	47	41	33	33	25	43	16	15	2	26			
		100.0	29.7	22.9	18.9	16.5	13.3	13.3	10.0	17.3	6.4	6.0	0.8	10.4			
	会社員・公務員・団体職員	772	382	168	175	167	117	76	84	38	64	19	7	37			
		100.0	49.5	21.8	22.7	21.6	15.2	9.8	10.9	4.9	8.3	2.5	0.9	4.8			
	アルバイト・パート	303	153	61	61	58	36	33	29	14	18	8	2	25			
		100.0	50.5	20.1	20.1	19.1	11.9	10.9	9.6	4.6	5.9	2.6	0.7	8.3			
	専業主婦	253	117	59	48	58	27	26	20	15	16	2	-	28			
		100.0	46.2	23.3	19.0	22.9	10.7	10.3	7.9	5.9	6.3	0.8	-	11.1			
学生・生徒	143	86	14	34	31	23	13	8	7	17	-	-	4				
	100.0	60.1	9.8	23.8	21.7	16.1	9.1	5.6	4.9	11.9	-	-	2.8				
無職	414	137	103	75	86	58	48	38	27	12	7	3	71				
	100.0	33.1	24.9	18.1	20.8	14.0	11.6	9.2	6.5	2.9	1.7	0.7	17.1				
その他	66	29	14	16	10	11	5	8	4	2	1	3	3				
	100.0	43.9	21.2	24.2	15.2	16.7	7.6	12.1	6.1	3.0	1.5	4.5	4.5				

問14 産業振興（観光）に関する施策の力点

観光については、「特産品や土産物づくり」が35.4%で最も多く、次いで「観光イベント祭り等のPR活動の充実」が29.0%、「既存観光資源の整備・充実」が25.8%となっている。

性別でみると、「既存観光資源の整備・充実」は、女性よりも男性に多くなっている。



年齢別でみると、「特産品や土産物づくり」「観光レクリエーション拠点の開発」は、20歳未満で多く、「観光イベント祭り等のPR活動の充実」は20歳代で多くなっている。「市内の観光資源を巡るルートづくり」は、60歳代、70歳以上で多くなっている。

地区別でみると、「特産品や土産物づくり」は海津町地区に多くなっている。

職業別でみると、「特産品や土産物づくり」は学生・生徒、農業に多く、「既存観光資源の整備・充実」は会社員・公務員・団体職員に多くなっている。

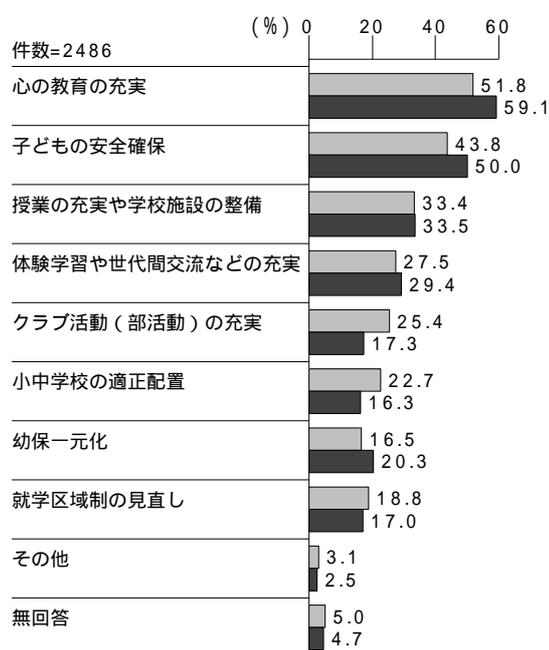
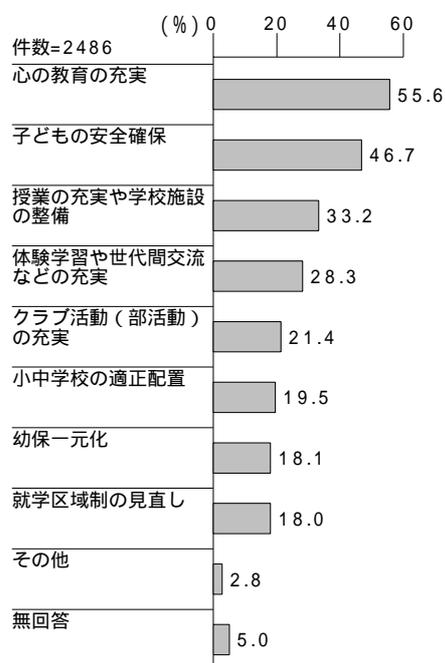
	件数	特産品や土産物づくり	観光イベント祭り等のPR活動の充実	既存観光資源の整備・充実	周辺市町と連携した観光ルートづくり	観光レクリエーション拠点の開発	市内の観光資源を巡るルートづくり	その他	無回答	
上段:実数 下段:(%)										
全体	2486 100.0	880 35.4	722 29.0	641 25.8	617 24.8	538 21.6	428 17.2	33 1.3	249 10.0	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	53 48.2	30 27.3	30 27.3	19 17.3	37 33.6	9 8.2	3 2.7	1 0.9
	20歳代	248 100.0	101 40.7	92 37.1	59 23.8	50 20.2	59 23.8	29 11.7	9 3.6	15 6.0
	30歳代	328 100.0	102 31.1	103 31.4	97 29.6	80 24.4	79 24.1	37 11.3	7 2.1	23 7.0
	40歳代	367 100.0	140 38.1	106 28.9	103 28.1	83 22.6	98 26.7	48 13.1	5 1.4	20 5.4
	50歳代	510 100.0	188 36.9	142 27.8	144 28.2	149 29.2	110 21.6	97 19.0	3 0.6	29 5.7
	60歳代	432 100.0	148 34.3	138 31.9	94 21.8	107 24.8	72 16.7	101 23.4	5 1.2	62 14.4
	70歳以上	451 100.0	139 30.8	102 22.6	102 22.6	120 26.6	77 17.1	94 20.8	1 0.2	91 20.2
	地区	海津市海津町	914 100.0	359 39.3	262 28.7	234 25.6	230 25.2	211 23.1	147 16.1	14 1.5
海津市平田町		490 100.0	179 36.5	143 29.2	113 23.1	126 25.7	101 20.6	81 16.5	6 1.2	51 10.4
海津市南濃町		997 100.0	316 31.7	299 30.0	269 27.0	243 24.4	212 21.3	183 18.4	13 1.3	102 10.2
職業	農業	254 100.0	100 39.4	64 25.2	61 24.0	59 23.2	35 13.8	57 22.4	2 0.8	38 15.0
	自営業	249 100.0	82 32.9	66 26.5	60 24.1	76 30.5	47 18.9	39 15.7	2 0.8	28 11.2
	会社員・公務員・団体職員	772 100.0	257 33.3	228 29.5	239 31.0	178 23.1	219 28.4	124 16.1	19 2.5	43 5.6
	アルバイト・パート	303 100.0	113 37.3	101 33.3	70 23.1	80 26.4	52 17.2	44 14.5	2 0.7	29 9.6
	専業主婦	253 100.0	92 36.4	82 32.4	54 21.3	62 24.5	60 23.7	38 15.0	2 0.8	22 8.7
	学生・生徒	143 100.0	68 47.6	43 30.1	36 25.2	27 18.9	40 28.0	14 9.8	3 2.1	5 3.5
	無職	414 100.0	136 32.9	109 26.3	95 22.9	115 27.8	67 16.2	84 20.3	1 0.2	71 17.1
	その他	66 100.0	25 37.9	22 33.3	17 25.8	13 19.7	12 18.2	17 25.8	2 3.0	6 9.1

3 - 7 学校教育に関する施策の力点

問15 学校教育について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つ以内)

学校教育に関する施策の力点は、「心の教育の充実」が55.6%で最も多く、次いで「子どもの安全確保」が46.7%、「授業の充実や学校施設の整備」が33.2%となっている。

性別で見ると、「心の教育の充実」「子どもの安全確保」は男性よりも女性に多く、「クラブ活動（部活動）の充実」「小中学校の適正配置」は女性よりも男性に多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「心の教育の充実」は、50歳代以上で6割前後の割合を占めている。「子どもの安全確保」は20歳代、30歳代と60歳代で多くなっている。「授業の充実や学校施設の整備」は、40歳代以下で多くなっている。また、「クラブ活動(部活動)の充実」は20歳未満で多くなっている。

地区別でみると、「小中学校の適正配置」は、南濃町地区で多くなっている。

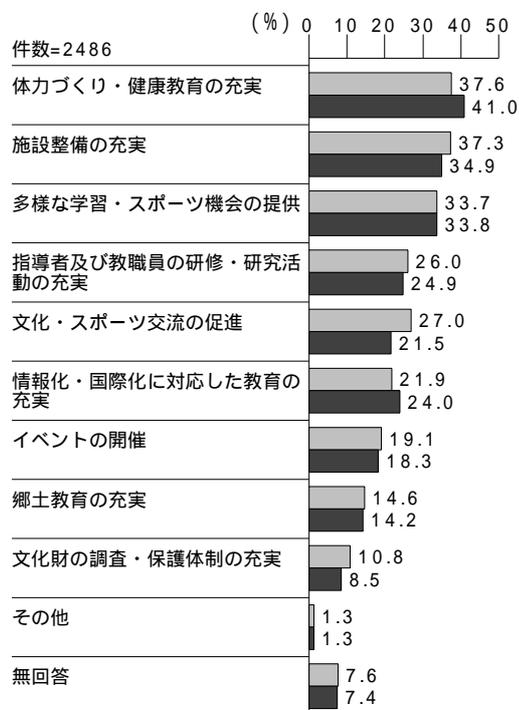
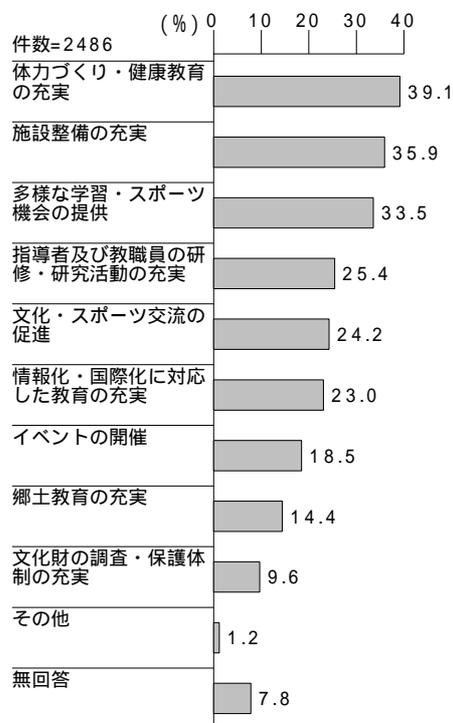
	件数	心の教育の充実	子どもの安全確保	授業の充実や学校施設の整備	体験学習や世代間交流などの充実	クラブ活動(部活動)の充実	小中学校の適正配置	幼保一元化	就学区域制の見直し	その他	無回答	
全体	2486 100.0	1382 55.6	1161 46.7	826 33.2	704 28.3	531 21.4	486 19.5	451 18.1	447 18.0	69 2.8	125 5.0	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	43 39.1	47 42.7	51 46.4	21 19.1	41 37.3	22 20.0	13 11.8	16 14.5	3 2.7	1 0.9
	20歳代	248 100.0	120 48.4	124 50.0	89 35.9	88 35.5	62 25.0	32 12.9	54 21.8	43 17.3	11 4.4	1 0.4
	30歳代	328 100.0	162 49.4	181 55.2	130 39.6	91 27.7	54 16.5	67 20.4	81 24.7	57 17.4	14 4.3	6 1.8
	40歳代	367 100.0	201 54.8	161 43.9	148 40.3	75 20.4	108 29.4	66 18.0	65 17.7	78 21.3	14 3.8	5 1.4
	50歳代	510 100.0	311 61.0	221 43.3	148 29.0	170 33.3	97 19.0	102 20.0	103 20.2	97 19.0	14 2.7	18 3.5
	60歳代	432 100.0	258 59.7	221 51.2	124 28.7	129 29.9	79 18.3	84 19.4	67 15.5	75 17.4	10 2.3	31 7.2
	70歳以上	451 100.0	264 58.5	192 42.6	126 27.9	118 26.2	85 18.8	108 23.9	64 14.2	72 16.0	2 0.4	55 12.2
地区	海津市海津町	914 100.0	525 57.4	443 48.5	299 32.7	281 30.7	178 19.5	154 16.8	174 19.0	183 20.0	31 3.4	41 4.5
	海津市平田町	490 100.0	288 58.8	235 48.0	177 36.1	134 27.3	121 24.7	51 10.4	91 18.6	84 17.1	14 2.9	22 4.5
	海津市南濃町	997 100.0	522 52.4	445 44.6	322 32.3	270 27.1	222 22.3	266 26.7	177 17.8	164 16.4	23 2.3	50 5.0

3 - 8 生涯学習・文化・スポーツに関する施策の力点

問16 生涯学習・文化・スポーツに関して、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（3つ以内）

生涯学習・文化・スポーツに関する施策の力点は、「体力づくり・健康教育の充実」が39.1%で最も多く、次いで「施設整備の充実」が35.9%、「多様な学習・スポーツ機会の提供」が33.5%となっている。

性別でみると、「文化・スポーツ交流の促進」は、女性よりも男性に多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「体力づくり・健康教育の充実」は50歳代で多く、「多様な学習・スポーツ機会の提供」は20歳未満と30歳代、40歳代で多くなっている。「郷土教育の充実」は70歳以上で多く、「イベントの開催」は40歳代以下で多くなっている。

地区別でみると、「施設整備の充実」は、南濃町地区で多くなっている。

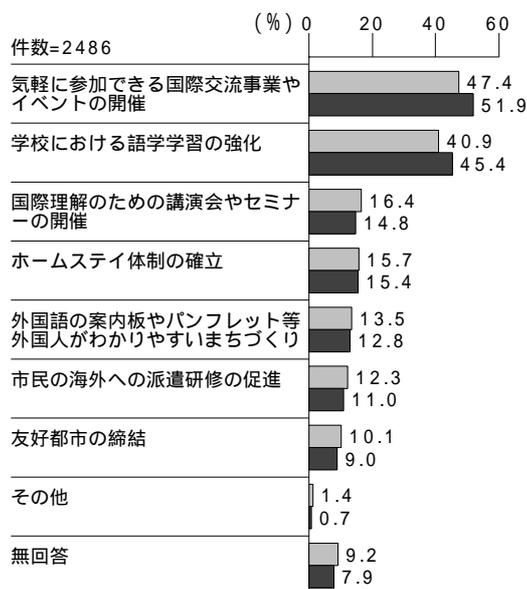
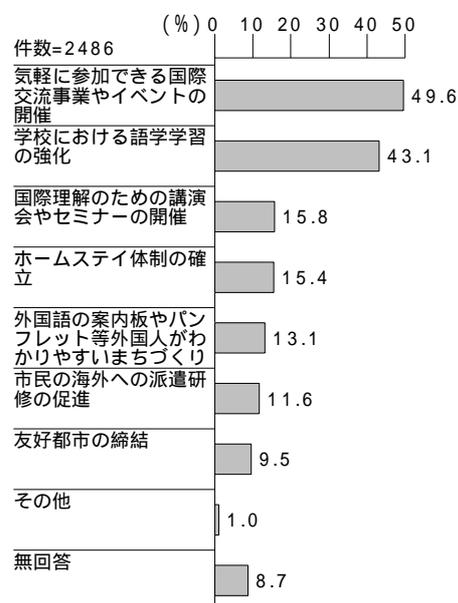
	件数	体力づくり・健康教育の充実	施設整備の充実	多様な学習・スポーツ機会の提供	修・研究活動の充実 指導者及び教職員の研	文化・スポーツ交流の促進	情報化・国際化に対応した教育の充実	イベントの開催	郷土教育の充実	文化財の調査・保護 制の充実	その他	無回答	
全体	2486 100.0	972 39.1	892 35.9	834 33.5	632 25.4	602 24.2	573 23.0	461 18.5	359 14.4	239 9.6	31 1.2	195 7.8	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	30 27.3	47 42.7	49 44.5	23 20.9	29 26.4	29 26.4	6 5.5	8 7.3	2 1.8	1 0.9	
	20歳代	248 100.0	81 32.7	104 41.9	83 33.5	70 28.2	62 25.0	60 24.2	23 9.3	17 6.9	5 2.0	6 2.4	
	30歳代	328 100.0	97 29.6	153 46.6	134 40.9	69 21.0	76 23.2	74 22.6	82 25.0	24 7.3	22 6.7	4 1.2	12 3.7
	40歳代	367 100.0	107 29.2	147 40.1	148 40.3	95 25.9	89 24.3	90 24.5	82 22.3	39 10.6	26 7.1	5 1.4	19 5.2
	50歳代	510 100.0	218 42.7	170 33.3	184 36.1	116 22.7	127 24.9	129 25.3	82 16.1	83 16.3	62 12.2	5 1.0	28 5.5
	60歳代	432 100.0	229 53.0	139 32.2	124 28.7	122 28.2	108 25.0	96 22.2	62 14.4	64 14.8	49 11.3	6 1.4	42 9.7
	70歳以上	451 100.0	199 44.1	119 26.4	103 22.8	127 28.2	102 22.6	88 19.5	48 10.6	114 25.3	53 11.8	4 0.9	78 17.3
	地区	海津市海津町	914 100.0	358 39.2	301 32.9	317 34.7	244 26.7	231 25.3	224 24.5	185 20.2	150 16.4	78 8.5	9 1.0
海津市平田町		490 100.0	182 37.1	164 33.5	161 32.9	132 26.9	121 24.7	102 20.8	99 20.2	69 14.1	40 8.2	5 1.0	42 8.6
海津市南濃町		997 100.0	399 40.0	403 40.4	333 33.4	235 23.6	232 23.3	229 23.0	167 16.8	122 12.2	114 11.4	17 1.7	74 7.4

3 - 9 国際化の推進に関する施策の力点

問17 国際化の推進といった観点から、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(2つ以内)

国際化の推進に関する施策の力点は、「気軽に参加できる国際交流事業やイベントの開催」が49.6%で最も多く、次いで「学校における語学学習の強化」が43.1%となっている。

性別でみると、「気軽に参加できる国際交流事業やイベントの開催」「学校における語学学習の強化」は、男性よりも女性に若干多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「学校における語学学習の強化」は30歳代で多く、「国際理解のための講演会やセミナーの開催」は60歳代、70歳以上で多くなっている。「ホームステイ体制の確立」は20歳未満と20歳代で多く、「友好都市の締結」「市民の海外への派遣研修の促進」は20歳未満で多くなっている。

地区別でみると、「気軽に参加できる国際交流事業やイベントの開催」は、海津町地区で多くなっている。

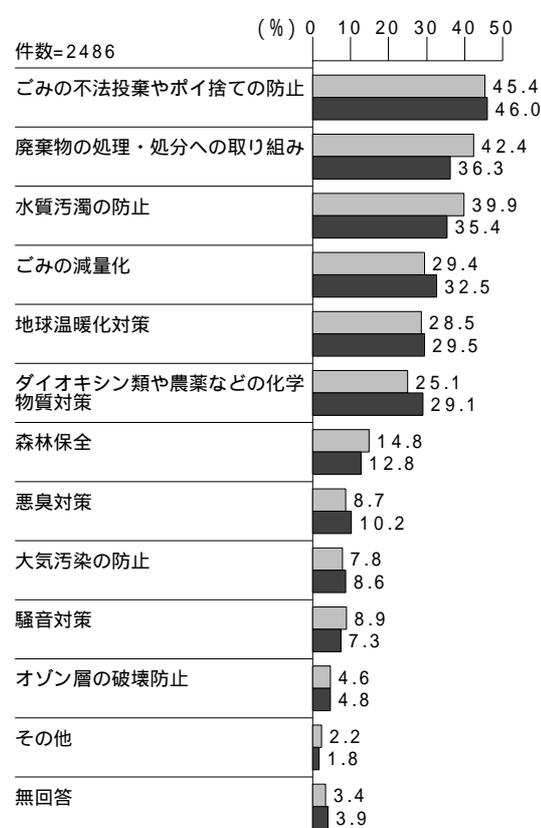
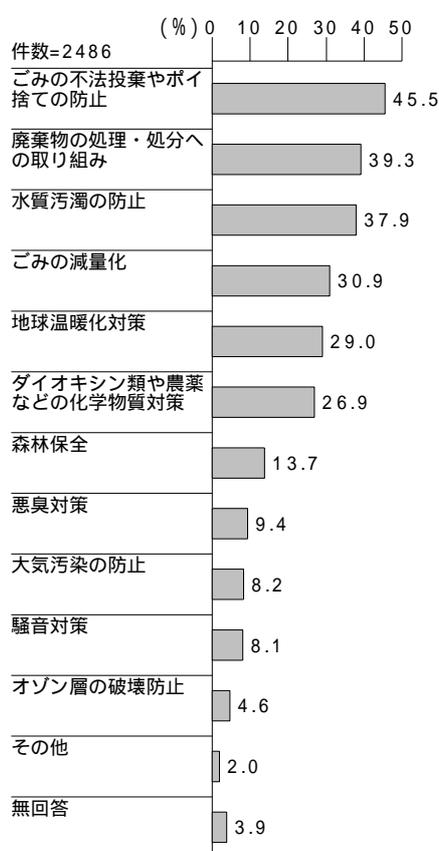
	件数	気軽に参加できる国際交流事業やイベントの開催	学校における語学学習の強化	国際理解のための講演会やセミナーの開催	ホームステイ体制の確立	外国人語の案内や外国人がわかりやすいまちづくり	市民の海外への派遣研修の促進	友好都市の締結	その他	無回答	
											上段：実数
全体	2486 100.0	1234 49.6	1072 43.1	392 15.8	384 15.4	325 13.1	289 11.6	236 9.5	25 1.0	217 8.7	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	45 40.9	36 32.7	8 7.3	25 22.7	20 18.2	23 20.9	20 18.2	2 1.8	1 0.9
	20歳代	248 100.0	119 48.0	104 41.9	27 10.9	59 23.8	34 13.7	37 14.9	27 10.9	3 1.2	10 4.0
	30歳代	328 100.0	163 49.7	173 52.7	30 9.1	60 18.3	29 8.8	31 9.5	33 10.1	3 0.9	15 4.6
	40歳代	367 100.0	195 53.1	171 46.6	46 12.5	64 17.4	39 10.6	43 11.7	28 7.6	8 2.2	14 3.8
	50歳代	510 100.0	282 55.3	214 42.0	86 16.9	79 15.5	83 16.3	56 11.0	45 8.8	4 0.8	33 6.5
	60歳代	432 100.0	225 52.1	167 38.7	94 21.8	46 10.6	66 15.3	44 10.2	40 9.3	3 0.7	51 11.8
	70歳以上	451 100.0	185 41.0	190 42.1	93 20.6	47 10.4	52 11.5	51 11.3	42 9.3	2 0.4	85 18.8
	地区	海津市海津町	914 100.0	491 53.7	388 42.5	151 16.5	136 14.9	124 13.6	102 11.2	77 8.4	9 1.0
海津市平田町		490 100.0	240 49.0	224 45.7	72 14.7	70 14.3	53 10.8	67 13.7	45 9.2	7 1.4	40 8.2
海津市南濃町		997 100.0	460 46.1	433 43.4	151 15.1	172 17.3	139 13.9	111 11.1	106 10.6	9 0.9	89 8.9

3 - 10 環境問題に関する施策の力点

問18 今後、海津市が環境問題に取り組んでいく中で、必要だと思うものを選んでください。（3つ以内）

環境問題に関する施策の力点は、「ごみの不法投棄やポイ捨ての防止」が45.5%で最も多く、次いで「廃棄物の処理・処分への取り組み」が39.3%、「水質汚濁の防止」が37.9%、「ごみの減量化」が30.9%などとなっている。

性別でみると、「廃棄物の処理・処分への取り組み」は女性よりも男性で多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「水質汚濁の防止」は50歳代で多くなっている。「森林の保全」は20歳未満、20歳代で多く、「ごみの減量化」は20歳未満で多くなっている。

地区別でみると、「森林の保全」は南濃町地区（25.2%）で多く、「水質汚濁の防止」は海津町地区（42.9%）で多くなっている。また、「廃棄物の処理・処分への取り組み」は平田町地区（43.5%）で多くなっている。

	件数	捨てる防止 ごみの不法投棄やポイ	廃棄物の処理・処分への取り組み	水質汚濁の防止	ごみの減量化	地球温暖化対策	ダイオキシン類や農薬	森林保全	悪臭対策	大気汚染の防止	騒音対策	オゾン層の破壊防止	その他	無回答	
	上段：実数 下段：(%)														
全体	2486 100.0	1132 45.5	976 39.3	942 37.9	767 30.9	721 29.0	668 26.9	341 13.7	234 9.4	203 8.2	201 8.1	115 4.6	49 2.0	96 3.9	
年齢	20歳未満（16～19歳）	110 100.0	55 50.0	29 26.4	36 32.7	47 42.7	28 25.5	22 20.0	25 22.7	8 7.3	15 13.6	12 10.9	5 4.5	3 2.7	1 0.9
	20歳代	248 100.0	102 41.1	75 30.2	86 34.7	74 29.8	74 29.8	67 27.0	58 23.4	22 8.9	26 10.5	25 10.1	20 8.1	7 2.8	2 0.8
	30歳代	328 100.0	132 40.2	113 34.5	118 36.0	102 31.1	85 25.9	97 29.6	47 14.3	34 10.4	24 7.3	28 8.5	20 6.1	8 2.4	10 3.0
	40歳代	367 100.0	168 45.8	154 42.0	125 34.1	103 28.1	114 31.1	108 29.4	48 13.1	40 10.9	23 6.3	27 7.4	14 3.8	10 2.7	8 2.2
	50歳代	510 100.0	230 45.1	223 43.7	243 47.6	164 32.2	146 28.6	138 27.1	64 12.5	47 9.2	27 5.3	39 7.6	21 4.1	6 1.2	11 2.2
	60歳代	432 100.0	216 50.0	177 41.0	155 35.9	136 31.5	143 33.1	130 30.1	39 9.0	42 9.7	41 9.5	26 6.0	16 3.7	10 2.3	19 4.4
	70歳以上	451 100.0	219 48.6	191 42.4	163 36.1	128 28.4	120 26.6	98 21.7	56 12.4	38 8.4	44 9.8	42 9.3	17 3.8	4 0.9	39 8.6
地区	海津市海津町	914 100.0	418 45.7	348 38.1	392 42.9	294 32.2	274 30.0	267 29.2	60 6.6	93 10.2	74 8.1	73 8.0	48 5.3	19 2.1	32 3.5
	海津市平田町	490 100.0	231 47.1	213 43.5	151 30.8	157 32.0	130 26.5	137 28.0	25 5.1	73 14.9	32 6.5	30 6.1	26 5.3	10 2.0	15 3.1
	海津市南濃町	997 100.0	455 45.6	383 38.4	365 36.6	289 29.0	289 29.0	243 24.4	251 25.2	63 6.3	90 9.0	91 9.1	37 3.7	20 2.0	39 3.9

3 - 11 住民が主体となったまちづくりについての考え方

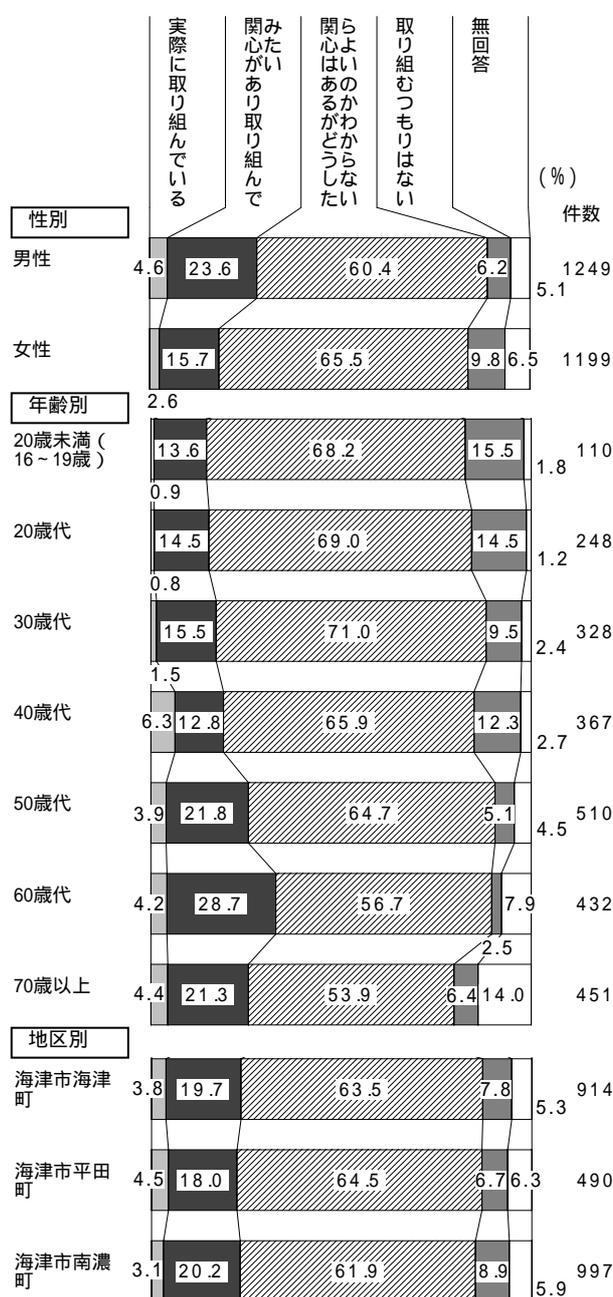
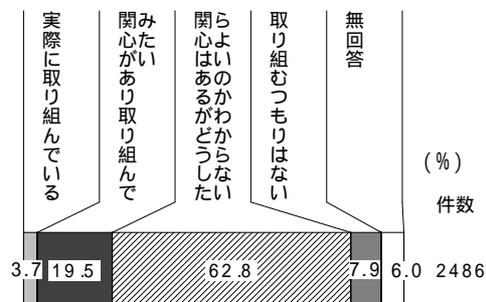
問19 あなたは、住民が主体となったまちづくりについてどのようにお考えですか。
(1つだけ)

住民が主体となったまちづくりについての考え方についてたずねたところ、「関心はあるがどうしたらよいのかわからない」と答えた人が62.8%と6割以上を占めている。また、「実際に取り組んでいる」「関心があり取り組んでみたい」といった『取り組んでいる』と答えた人はあわせて23.2%となっている。一方、「取り組むつもりはない」と答えた人は7.9%となっている。

性別でみると、「実際に取り組んでいる」「関心があり取り組んでみたい」と答えた人は、女性よりも男性に多く、「関心はあるがどうしたらよいのかわからない」と答えた人は女性に多くなっている。

年齢でみると、「実際に取り組んでいる」と答えた人は、40歳代が6.3%と最も多くなっている。「関心があり取り組んでみたい」は、50歳代、60歳代が2割以上を占めて多くなっている。一方、「取り組むつもりがない」は、20歳未満、20歳代、40歳代で1割以上を占めている。

地区別でも顕著な差はみられない。

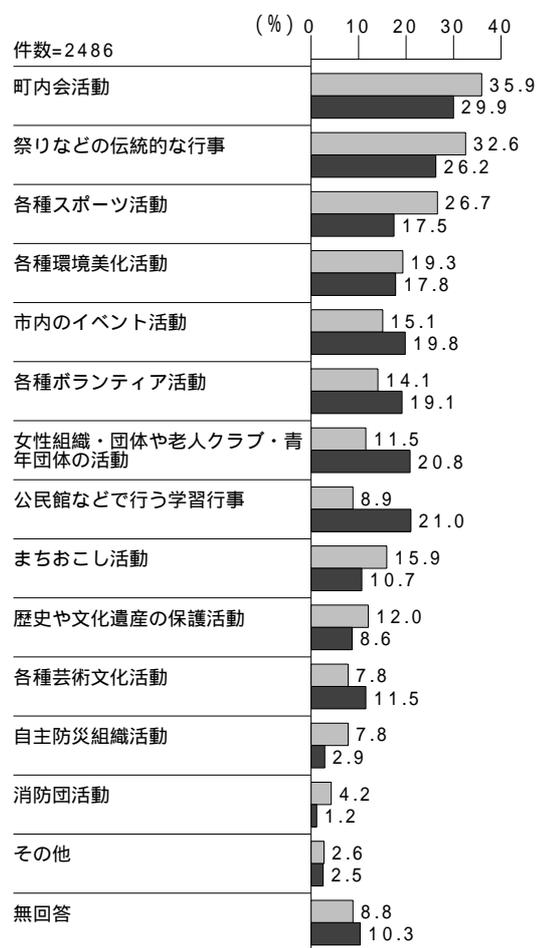
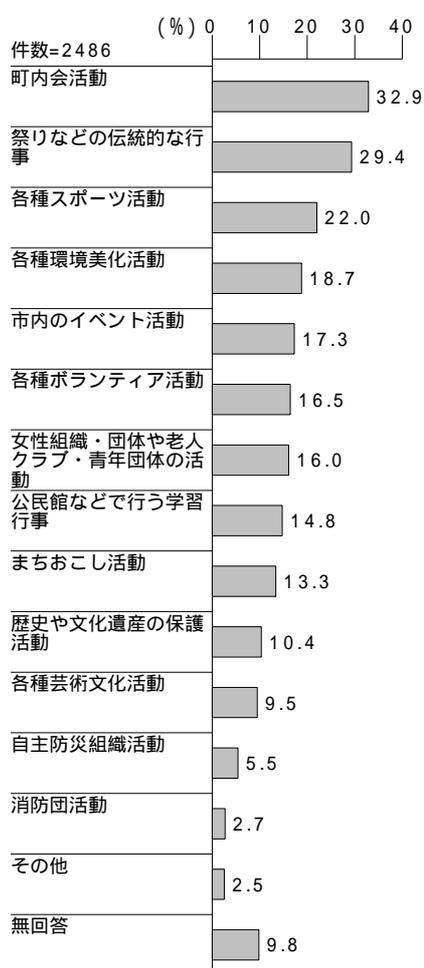


3 - 12 市民活動への参加意向

問20 あなたは、どのような市民活動に参加したいと思いますか。現在行っている活動も含めて、お答えください。（3つ以内）

市民活動への参加意向についてたずねたところ、「町内会活動」が32.9%で最も多く、次いで「祭りなどの伝統的な行事」が29.4%、「各種スポーツ活動」が22.0%などとなっている。

性別でみると、「町内会活動」「祭りなどの伝統的な行事」「各種スポーツ活動」「まちおこし活動」などは男性に多く、「市内のイベント」「各種ボランティア活動」「女性組織・団体や老人クラブ・青年団体の活動」「公民館などで行う学習行事」などは女性に多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「祭りなどの伝統的な行事」「各種スポーツ活動」は20歳未満、20歳代で多く、「市内のイベント」は20歳未満で多くなっている。「町内会活動」は、40歳代、50歳代で多く、「各種ボランティア活動」は50歳代、60歳代で多くなっている。「各種環境美化活動」は50歳代以上で多く、「女性組織・団体や老人クラブ・性年代の活動」は60歳代以上で多くなっている。

地区別でみると、「各種環境美化活動」は、海津町地区で多くなっている。

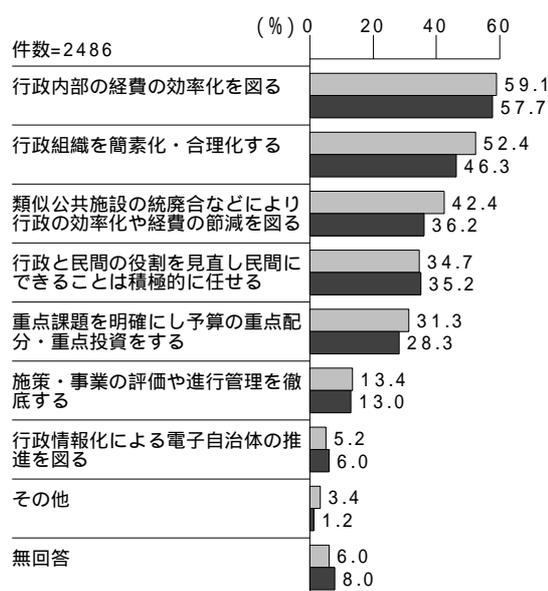
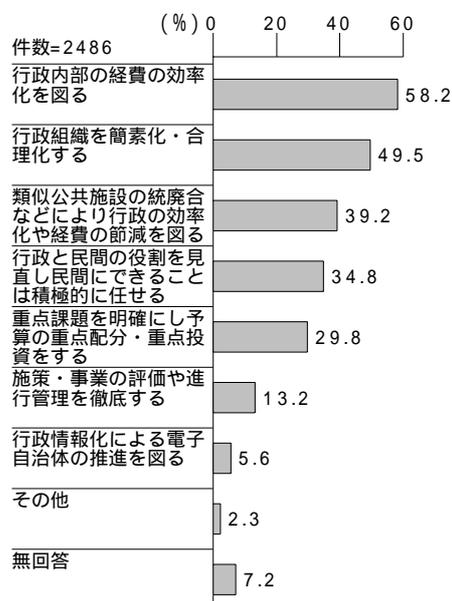
	件数	町内会活動	祭りなどの伝統的な行事	各種スポーツ活動	各種環境美化活動	市内のイベント活動	各種ボランティア活動	女性組織・団体や老人クラブ・青年団体の活動	公民館などで行う学習	まちおこし活動	歴史や文化遺産の保護活動	各種芸術文化活動	自主防災組織活動	消防団活動	その他	無回答	
																	上段：実数
全体	2486	817	730	546	466	431	410	399	367	331	259	236	136	66	63	244	
	100.0	32.9	29.4	22.0	18.7	17.3	16.5	16.0	14.8	13.3	10.4	9.5	5.5	2.7	2.5	9.8	
年齢	20歳未満(16~19歳)	110	15	48	41	13	35	21	4	2	14	5	9	-	1	4	10
		100.0	13.6	43.6	37.3	11.8	31.8	19.1	3.6	1.8	12.7	4.5	8.2	-	0.9	3.6	9.1
	20歳代	248	33	105	90	29	50	36	14	23	36	18	28	9	18	12	12
		100.0	13.3	42.3	36.3	11.7	20.2	14.5	5.6	9.3	14.5	7.3	11.3	3.6	7.3	4.8	4.8
	30歳代	328	104	109	101	38	74	37	22	42	35	18	24	11	17	9	28
		100.0	31.7	33.2	30.8	11.6	22.6	11.3	6.7	12.8	10.7	5.5	7.3	3.4	5.2	2.7	8.5
	40歳代	367	151	115	102	62	83	50	25	46	41	30	42	13	5	9	28
	100.0	41.1	31.3	27.8	16.9	22.6	13.6	6.8	12.5	11.2	8.2	11.4	3.5	1.4	2.5	7.6	
50歳代	510	205	152	87	110	88	112	61	88	78	59	63	37	6	11	37	
	100.0	40.2	29.8	17.1	21.6	17.3	22.0	12.0	17.3	15.3	11.6	12.4	7.3	1.2	2.2	7.3	
60歳代	432	139	106	81	100	60	90	116	78	69	67	39	31	7	8	43	
	100.0	32.2	24.5	18.8	23.1	13.9	20.8	26.9	18.1	16.0	15.5	9.0	7.2	1.6	1.9	10.0	
70歳以上	451	157	87	38	107	36	56	152	83	50	59	29	34	11	10	78	
	100.0	34.8	19.3	8.4	23.7	8.0	12.4	33.7	18.4	11.1	13.1	6.4	7.5	2.4	2.2	17.3	
地区	海津市海津町	914	289	285	196	199	165	163	155	109	140	93	92	47	25	26	78
		100.0	31.6	31.2	21.4	21.8	18.1	17.8	17.0	11.9	15.3	10.2	10.1	5.1	2.7	2.8	8.5
	海津市平田町	490	180	152	101	84	81	71	87	81	55	42	39	26	11	14	47
	100.0	36.7	31.0	20.6	17.1	16.5	14.5	17.8	16.5	11.2	8.6	8.0	5.3	2.2	2.9	9.6	
海津市南濃町	997	319	269	233	169	172	160	149	164	119	115	103	60	29	22	102	
	100.0	32.0	27.0	23.4	17.0	17.3	16.0	14.9	16.4	11.9	11.5	10.3	6.0	2.9	2.2	10.2	

3 - 13 効率的な行政運営を行うために重点的に取り組むべきこと

問21 あなたは、効率的な行政運営を行うために、何を重点的に取り組むべきだと思いますか。(3つ以内)

効率的な行政運営を行うために重点的に取り組むべきことは、「行政内部の経費の効率化を図る」が58.2%で最も多く、次いで「行政組織を簡素化・合理化する」が49.5%、「類似公共施設の統廃合などにより行政の効率化や経費の削減を図る」が39.2%、「行政と民間の役割を見直し民間にできることは積極的に任せる」が34.8%、「重点課題を明確にし予算の重点配分・重点投資をする」が29.8%などとなっている。

性別でみると、「行政組織を簡素化・合理化する」「類似公共施設の統廃合などにより行政の効率化や経費の削減を図る」は女性よりも男性に多くなっている。



凡例 性
 男性
 女性

年齢別でみると、「行政組織を簡素化・合理化する」は、40歳代以上の年齢層で多く、「行政と民間の役割を見直し民間にできることは積極的に任せる」は50歳代、60歳代で多くなっている。

地区別による顕著な差はみられない。

上段：実数 下段：(%)	件数	行政内部の経費の効率化を図る	行政組織を簡素化・合理化する	類似公共施設の統廃合などにより行政の効率化や経費の削減を図る	行政と民間の役割を見直し民間にできることは積極的に任せる	重点課題を明確に示す	算の重点配分・重点投資をする	施策・事業の評価や進	行政管理を徹底する	自治体の推進を図る	行政情報化による電子	その他	無回答
全体	2486 100.0	1447 58.2	1230 49.5	975 39.2	865 34.8	742 29.8	328 13.2	138 5.6	56 2.3	179 7.2			
年齢	20歳未満(16~19歳)	110 100.0	60 54.5	40 36.4	34 30.9	30 27.3	43 39.1	19 17.3	8 7.3	2 1.8	4 3.6		
	20歳代	248 100.0	153 61.7	95 38.3	84 33.9	83 33.5	84 33.9	45 18.1	29 11.7	7 2.8	7 2.8		
	30歳代	328 100.0	197 60.1	146 44.5	128 39.0	88 26.8	106 32.3	41 12.5	19 5.8	11 3.4	17 5.2		
	40歳代	367 100.0	212 57.8	189 51.5	148 40.3	113 30.8	119 32.4	40 10.9	17 4.6	11 3.0	17 4.6		
	50歳代	510 100.0	315 61.8	277 54.3	226 44.3	198 38.8	137 26.9	64 12.5	26 5.1	15 2.9	23 4.5		
	60歳代	432 100.0	254 58.8	234 54.2	182 42.1	185 42.8	115 26.6	55 12.7	19 4.4	5 1.2	37 8.6		
	70歳以上	451 100.0	239 53.0	228 50.6	160 35.5	159 35.3	127 28.2	58 12.9	17 3.8	5 1.1	66 14.6		
地区	海津市海津町	914 100.0	545 59.6	455 49.8	382 41.8	314 34.4	270 29.5	127 13.9	49 5.4	20 2.2	61 6.7		
	海津市平田町	490 100.0	255 52.0	242 49.4	196 40.0	162 33.1	150 30.6	67 13.7	34 6.9	13 2.7	36 7.3		
	海津市南濃町	997 100.0	592 59.4	487 48.8	368 36.9	365 36.6	303 30.4	123 12.3	52 5.2	22 2.2	70 7.0		